

**HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査
報告書**

(平成 27 年度)

厚生労働科学研究費補助金

エイズ対策政策研究事業

男性同性間の HIV 感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究

研究代表者

市川 誠一 (人間環境大学)

研究分担者

今井 光信 (田園調布学園大学)

HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査（H27 年度）

研究分担者	今井光信	（田園調布学園大学）
研究協力者	近藤真規子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	佐野貴子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	大野理恵	（神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班）
	岡部英男	（神奈川県衛生研究所）
	須藤弘二	（慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室）
	加藤真吾	（慶應義塾大学医学部微生物部・免疫学教室）
	市川誠一	（人間環境大学）

研究概要

男性同性間の HIV 感染予防対策を考える上で、重要な位置を占めている保健所等における HIV 検査相談体制の実状を把握し、また、その充実を図るため、全国の保健所等 HIV 無料匿名検査実施施設を対象とした HIV 検査・相談に関するアンケート調査を実施した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象とした 565 箇所（保健所及びその支所等）中、484 施設（86%）から回答を得ることができた。アンケート結果では、平成 27 年の 1 年間に、回答の得られた 484 施設で 87,856 件の HIV 検査が実施され、254 件（0.29%）が陽性であった。陽性 254 件中 238 件（94%）が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、208 件（87%）については、その後医療機関に受診していることが保健所等において確認されていることが分かった。また、感染症法に基づく届出に関しては、平成 27 年に陽性と分かった 254 件中の 143 件（56%）については自施設からの報告が行われていることが分かった。

また、東京都南新宿 HIV 検査・相談室等の特設検査機関へのアンケート結果では、24 箇所中 20 箇所から回答があり、それらの検査相談機関において、24,412 件の検査が行われ、129 件（0.53%）が陽性であった。陽性であった 129 件中 121 件（94%）において、結果が伝えられ、そのうち、113 件（93%）については受診したことが把握されていた。

即日検査の実施状況に関しては、平成 27 年に即日検査を実施した保健所は 328 施設（68%）と昨年とほぼ同じであった。また夜間・土日検査に関しては、平日夜間検査が 184 施設（38%）で、土日検査が 71 施設（15%）と、昨年と比べ土日検査もほぼ同じであった。全国的にみると検査相談の実施形態に関してはこの数年ほぼ定常状態にあることが分かった。

また、保健所等における HIV 検査相談は、HIV 感染予防対策を考える上でも重要な役割を有するものであるが、それと関連したアンケート調査では、行動変容を働きかける相談に関しては、保健所の 94%、特設検査相談施設の 90%とそのほとんどが、受検者への感染予防の働きかけを行っていると回答している。また、受検者について把握している内容については、受検動機、感染リスク、感染機会の時期、等については 70%以上の保健所や特設検査相談機関が把握していると回答している。一方、性的志向に関しては特設検査相談施設の 80%が把握しているとの回答したのに対して、保健所で把握しているとの回答は 48%であった。保健所における HIV 検査相談が、男性同性間の HIV 感染予防対策の観点からも、より効果的に実施されるためには、具体的に何が必要かを、今後のアンケート等を通じて明らかにするとともに、研究班として可能な支援方法について検討していきたい。

また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知に関

しては、本年度においては HIV 検査に関して 3 件と STI 検査に関して 1 件、合計 4 件の誤通知事例があった。結果の転記ミスや渡す際の番号の間違いによる人為的ミスであったが、幸い、いずれのケースでも、正しい結果を本人に伝えることができたとのことであった。保健所等における HIV 検査は匿名であることもあり、その結果の受け渡しや、結果の確認に関しては、より慎重な対応が必要である。結果の確認や転記ミスの防止、匿名（番号・記号）による本人確認の徹底等により誤通知事例の再発防止に努めることが重要である。

A. 目的

男性同性間の HIV 感染予防対策を考える上で、重要な位置を占めている保健所等における HIV 検査相談体制の実状を把握し、その充実を図るため、全国の保健所等を対象に HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

B. 方法

全国の保健所およびその支所等 565 箇所の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等 24 箇所の特設 HIV 検査相談施設とを対象に、平成 28 年 1 月 5 日に HIV 検査相談（H27 年）に関するアンケート調査票を郵送し、平成 28 年 1 月 23 日を締め切り日として、返送用封筒によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

C. 結果

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 565 施設中 484 施設からアンケート結果が返送され、アンケートの回収率は 86%であった。また、特設検査相談機関については、対象とした 24 施設中 20 施設（83%）からアンケート結果を回収できた。

① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった 484 保健所等施設の中で 483 施設とほとんどの施設が HIV 検査相談を実施していた。残りの 2 施設では検査相談を受けに来る人がいなかった。

② HIV 検査総数と陽性率

上記 484 保健所等施設で平成 27 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 87,856 件で、陽性は 254 件（0.29%）であった。（図 1）

一方、回答のあった 20 特設検査相談機関で平成 27 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 24,412 件で、陽性は 129 件（0.53%）であった。（図 2）

③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率

保健所での HIV 検査陽性の 254 件において、受検者が陽性の確認検査を受け取りに再来所したのは 238 件（94%）であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 208 例であり、陽性結果を伝えられた 238 件中の 87%であった。

特設検査での HIV 検査陽性の 121 件において、受検者が陽性の確認検査を受け取ったのは 121 件（94%）であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 113 例であり、陽性結果を伝えられた 121 件中の 93%であった。（図 2）

④ HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、保健所では、平成 27 年に陽性と分かった 254 件中の 143 件（56%）については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。（図 1）

特設検査では、129 件中の 103 件（80%）については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。（図 2）

⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査と同時に行っている性感染症検査に関しては 411 施設（85%）の保健所等で実施

しており、その内訳は、梅毒検査 319 施設 (78%)、クラミジア抗体 151 施設 (36%)、クラミジア抗原 128 施設 (31%)、淋菌 49 施設 (12%)、B 型肝炎 309 施設 (75%)、C 型肝炎 294 施設 (72%)であった。梅毒検査及び B 型肝炎と C 型肝炎のウイルス検査に関しては、70%を上回る施設で実施されていることが分かった。(図 25-A, 図 26-A)

特設検査相談機関では、13 施設 (65%) で性感染症検査を実施しており、その内訳は、梅毒検査 6 施設 (86%)、クラミジア抗体 0 施設 (0%)、クラミジア抗原 2 施設 (29%)、淋菌 2 施設 (29%)、B 型肝炎 5 施設 (71%)、C 型肝炎 0 施設 (0%)であった。梅毒検査及び B 型肝炎ウイルス検査に関する検査の実施施設が多かった。(図 25-B, 図 26-B)

⑥ 受検者について把握している内容

保健所では、性別と年齢・年代についてはほとんどの保健所が把握しており、受検動機については 82%、感染機会の時期については 84%、感染リスクについては 70%と把握しているとの回答が多かった。一方、居住地については 42%の保健所で把握しているとの回答であり、性的指向については 48%の保健所が把握しているとの回答であった。(図 24-A)

特設検査相談では、性別と年齢・年代については全ての施設が把握しており、居住地については 75%、受検動機については 70%、感染機会の時期については 70%、感染リスクについては 80%、性的指向については 80%と多くの施設が把握しているとの回答であった。(図 24-B)

⑥ HIV 即日検査の実施状況

保健所で、即日検査のみ実施している施設が 211 施設 (44%)、即日検査と通常検査を行っている施設が 117 施設 (24%)、通常検査のみ行っている施設は 155 施設 (32%)であり、68%の施設が即日検査を導入しており、これら割合は、昨年とほぼ同じであった。(図 3-A)

特設検査相談では、即日検査のみ実施して

いる施設が 14 施設 (70%)、即日検査と通常検査を行っている施設が 2 施設 (10%)、通常検査のみ行っている施設は 4 施設 (20%)であり、80%の施設が即日検査を導入していた。(図 3-B)

⑦ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

HIV 検査相談を実施している全国 483 保健所で、平日・昼間にのみ検査を行っている保健所が 228 施設 (47%)、平日夜間検査を行っている保健所が 184 施設 (38%)、土曜・日曜検査を行っている保健所が 71 施設 (15%)であり、土日検査は昨年と比べわずかながら増えていた。(図 4-A)

特設検査相談では、平日夜間検査を行っている施設が 2 施設 (10%)、土曜・日曜検査を行っている保健所が 18 施設 (90%)と多かった。(図 4-B)

⑧ 検査法と実施時間の組み合わせ

検査法と実施時間との組み合わせについては、保健所では、通常平日の検査は 118 施設 (24%)、通常夜間が 36 施設 (8%)、通常土日が 2 施設であり、即日平日が 84 施設 (17%)、即日夜間が 95 施設 (20%)、即日土日が 32 施設 (7%)であり、両検査平日が 26 施設 (5%)、両検査夜間が 53 施設 (11%)、両検査土日が 38 施設 (8%)であった。これらの結果から、多くの検査施設が昨年同様、より利便性の高い検査相談の提供に努めていることが分かった。(図 5-A)

特設検査相談では、通常平日夜間が 1 施設 (5%)、通常土日が 3 施設 (15%)、即日夜間が 1 施設 (5%)、即日土日が 13 施設 (65%)であり、両検査土日が 2 施設 (10%)であった。(図 5-B)

⑨ 年間検査件数別の保健所分布

年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 185 箇所 (38%)、50 件以上 100 件未満は 80 箇所 (17%)、100 件以上 200 件未満は 97 箇所 (20%)、200 件以上 500 件未満は 80 箇所 (17%)、500

件以上 1000 件未満は 30 箇所(6.2%)、1000 件以上は 11 箇所(2.3%)であった。(図 12-A)

特設検相談では、年間検査件数が 50 件以上 100 件未満は 1 箇所(5%)、100 件以上 200 件未満は 2 箇所(10%)、200 件以上 500 件未満は 4 箇所(20%)、500 件以上 1000 件未満は 8 箇所(40%)、1000 件以上は 5 箇所(25%)であった。

(図 12-B)

⑩ 年間検査件数別の保健所数とその検査数

年間検査件数が 200 件以上の保健所数は 121 箇所(25%)であったが、そこで実施された検査件数は、63,941 件で全検査数 87,856 件の 73%を占めており、また、年間 500 件以上の施設は 41 件 5%であるが、それら施設における検査数は全検査数の 45%を占めていた。一方、年間検査数が 100 件未満の保健所が保健所数では 55%となるが、その合計検査数は全検査数の 11%であった。(図 13, 14)

⑪ 年間検査件数別の陽性率

保健所等の HIV 検査相談における陽性率は、平均では 0.29%であり、年間検査数別に調べると、検査数 50 件未満の保健所では 0.29%、検査数 50-99 件の保健所では 0.16%、100-199 件の施設では 0.30%、200-499 件の施設では 0.21%、500-999 件の施設では 0.35%、1000 件以上の施設では 0.36%と、検査数の 500 件以上と非常に多い施設では陽性率も 0.35 以上と高かったが、50 件未満であっても 0.29 と特に低いともいえなかった。50 件以下であっても陽性率が 0.29 であったことについては今までと異なっており、今後の動向を注視していくことが重要である。

⑫ 予約制の有無

予約制の有無に関しては、保健所では、通常検査の実施設の 58%、即日検査の実施設の 82%が予約制を実施しており、またその場合、通常検査では 42%、即日検査では 75%が上限を設けていた。(図 18-A, 19, 20-A)

特設検査相談では、通常検査の実施設の 50%、即日検査の実施設の 56%が予約制を实

施しており、またその場合、通常検査では 50%、即日検査では 88%が上限を設けていた。(図 18-B, 図 20-B)

⑬ HIV 検査(スクリーニング検査と確認検査)の実施設

通常検査における、スクリーニング検査の場合、自保健所での実施が 16%、他の保健所への委託が 11%、衛生研究所への委託が 42%、外部委託による検査は 30%であった。また、確認検査に関しては、衛生研究所への依頼が 71%で、外部委託は 20%であった。即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が 61%、医師、保健師が 15%であった。(図 31, 32)

⑭ スクリーニング検査陽性後の通知と確認検査について

通常検査の場合には、スクリーニング検査陽性の場合には確認検査を引き続き実施し、受検者には、確認検査後の結果を通知するが 235 施設(86%)と最も多く、また、昨年に比べてやや増加していた。スクリーニング検査の結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行う施設は 18 施設(7%)と少なかった。(図 29)

即日検査の場合、スクリーニング検査陽性の場合には、後日確認検査の結果を伝えることになるが、確認検査に使用する検体については、迅速検査の残血液で行うが 204 施設と最も多く、迅速検査用と同時に確認検査用血液も予め採血する施設が 58 施設、陽性後に再採血するが 56 施設であった。

⑮ 確認検査の方法について

確認検査の方法について、保健所では、WB のみが 167 施設(35%)二次スクリーニングと WB が 158 施設(33%)、WB と NAT 法の組み合わせは 146 施設(30%)であった。(図 30-A)

特設検査相談では、WB のみが 1 施設(5%)二次スクリーニングと WB が 8 施設(40%)、WB と NAT 法の組み合わせは 8 施設(40%)であった。(図 30-B)

⑩ 結果説明について

結果説明の担当者（複数回答可）に関しては、保健所では、陰性時には医師が 41%、保健師・看護師が 78%であり、迅速検査陽性時には、医師が 84%、保健師・看護師が 86%で、確認検査陽性時には 98%とほぼ全ての施設で医師が担当し、82%では保健師・看護師、27%ではカウンセラーも加わっていることが分かった。（図 38-A）また、感染予防のための行動変容を働きかける相談に関しては、94%の施設において行われており、80%では全員に、20%の施設では一部を対象に行われていた。（図 39-A, 40-A）陽性者への説明に関しては、全施設の 79%で説明資料を用意してあるとの回答であった。（図 47-A）陽性者への説明のマニュアルについては 69%の施設でありとの回答であった。（図 46-A）

特設検査相談では、陰性時には医師が 71%、保健師・看護師が 35%であり、迅速検査陽性時には、医師が 77%、保健師・看護師が 23%で、確認検査陽性時には 100%と全ての施設で医師が担当し、41%では保健師・看護師、71%ではカウンセラー等も加わっていることが分かった。（図 38-B）

また、感染予防のための行動変容を働きかける相談に関しては、90%の施設において行われており、89%では全員に、11%の施設では一部を対象に行われていた。（図 39-B, 40-B）陽性者への説明に関しては、全施設の 85%で説明資料を用意してあるとの回答であった。（図 47-B）陽性者への説明のマニュアルについては 80%の施設でありとの回答であった。（図 46-B）

⑪ HIV 等の検査結果の誤通知について

また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知に関しては、平成 25 年は 5 件（検査結果の記入ミスが 2 例、別の受検者の結果を伝えるミスが 3 例）あり、平成 26 年は誤通知事例の報告は 0 であったが、平成 27 年においては HIV 検査に

関して 3 件と STI 検査に関して 1 件、合計 4 件の誤通知事例があった。結果の転記ミスや渡す際の番号の間違いによる人為的ミスであったが、幸い、いずれのケースでも、正しい結果を本人に伝えることができたとのことであった。保健所等における HIV 検査は匿名であることもあり、その結果の受け渡しや、結果の確認に関しては、より慎重な対応が必要であり、結果確認や番号確認の徹底等、誤通知事例の再発防止に努めることが重要である。

D. まとめと考察

平成 20 年をピークに、その後は新型インフルエンザ、東日本大震災等の影響もあり、国民全体の HIV への関心が下がり、保健所等における HIV 検査相談数も平成 21-22 年と大きく減少したが、その後は横ばい傾向が続いており、平成 27 年の保健所アンケート調査においても、ほぼ横ばいの状況が続いていることが分かった。

今回行った全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所の協力により、対象とした 565 保健所等施設の 86%、484 施設から回答を得ることができた。

また、特設検査相談機関についても、対象とした 24 施設の 20 施設（83%）から回答を得ることができた。

アンケート結果では、HIV 検査を実施している全国 484 施設で、平成 27 年に 87,856 件の HIV 検査が実施され、そのうち 254 件（0.29%）が陽性であった。陽性例のうち、238 件（94%）が再来所して陽性の結果を受け取っており、208 件（87%）については、その後医療機関に受診していることが保健所において確認されていることが分かった。陽性数は昨年に比べやや増加し、医療機関に繋がったことの確認ができた率も昨年に比べ上昇がみられた。

一方、HIV 確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、特設検査機関では

80%で届け出が行われているのに対し、保健所では56%の届け出であった。サーベイランスの精度向上のためにも、確認検査陽性を確定した施設からの報告を徹底する一方、医療機関との連携を深めることにより、陽性判明者の受診率の向上と、届け出の重複のない仕組みを構築していくことが重要である。

また、HIV 検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査や夜間、土日検査等受検者に利便性の高い時間帯の検査を多くの施設で実施しており、通常検査で平日昼間のみの保健所は全体の24%と少なかった。

また、保健所等における HIV 検査相談は、HIV 感染予防対策を考える上でも重要な役割を有するものであるが、それと関連したアンケート調査では、行動変容を働きかける相談に関しては、保健所の94%、特設検査相談施設の90%とそのほとんどが、受検者への感染予防の働きかけを行っていると回答している。また、受検者について把握している内容については、受検動機、感染リスク、感染機会の時期、等については70%以上の保健所や特設検査相談機関が把握していると回答している。一方、性的志向に関しては特設検査相談施設の80%が把握しているとの回答したのに対して、保健所で把握しているとの回答は48%であった。保健所における HIV 検査相談が、男性同性間の HIV 感染予防対策の観点からも、より効果的に実施されるためには、具体的に何が必要かを、今後のアンケート等を通じて明らかにするとともに、研究班として可能な支援方法について検討していきたい。また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知に関しては、平成25年はHIV 検査とSTI 検査等で5件と多数の事例があったため、平成25年の報告書において、誤通知事例の概要、原因等を報告し、その防止策の強化に関する注意喚起を行ったが、平成26年は幸い誤通知に関する事例報告は0であった。しかしながら、今回（平成27

年）再び、HIV 検査に関して3件とSTI 検査に関して1件、合計4件の誤通知事例のあったことが分かった。結果の転記ミスや渡す際の番号の間違いによる人為的ミスであったが、幸い、いずれのケースでも、正しい結果を本人に伝えることができたとのことであった。保健所等における HIV 検査は匿名であることもあり、その結果の受け渡しや、結果の確認に関しては、より慎重な対応が必要であり、結果確認や番号確認の徹底等、誤通知事例の再発防止に努めることが重要である。

今回の例からも、誤通知事例はどの施設でも起こりうることを共通認識として共有し、誤通知等の発生防止に向けて継続した努力と注意喚起が今後とも必要である。

謝辞

保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所および特設 HIV 検査相談関係者の皆様方に深く感謝致します。

E. 発表論文等

1. 論文

1) 佐野貴子、加藤真吾、今井光信. HIV 無料・匿名検査相談の役割—保健所等 HIV 無料・匿名検査相談施設における HIV 検査の現状と課題—. 日本エイズ学会誌、17:125-132、2015.

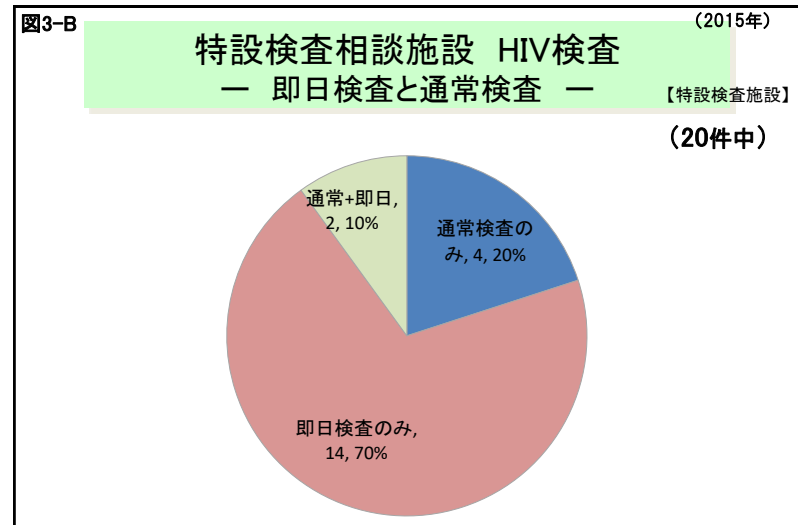
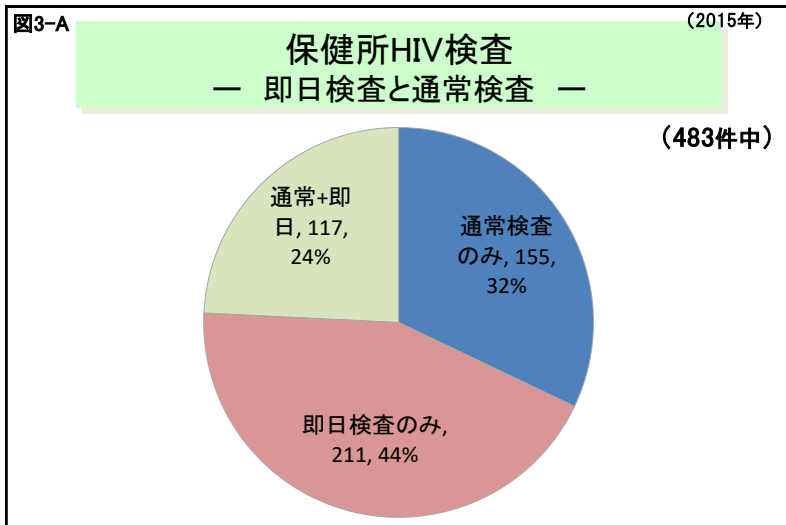
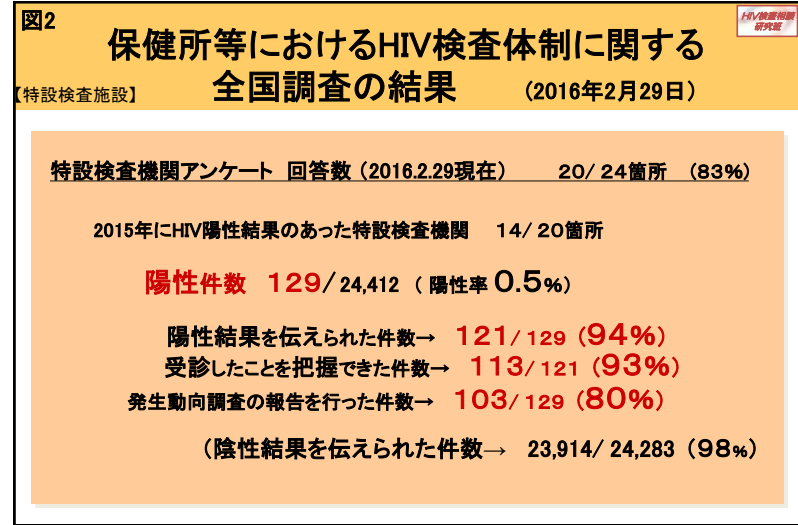
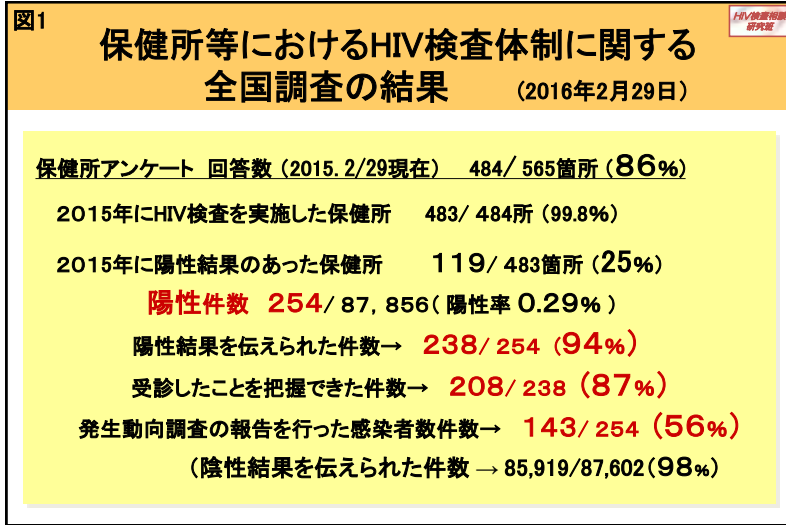
2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、加藤真吾. HIV 郵送検査の現状と展望. 日本エイズ学会誌、17:138-142、2015.

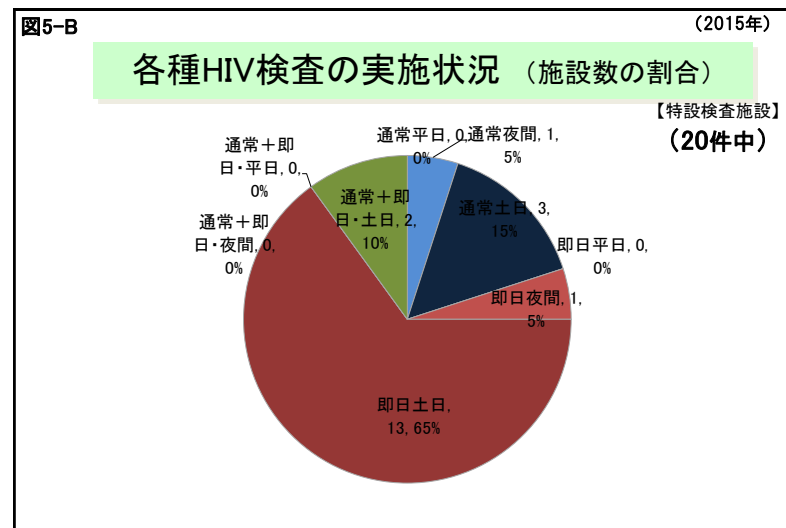
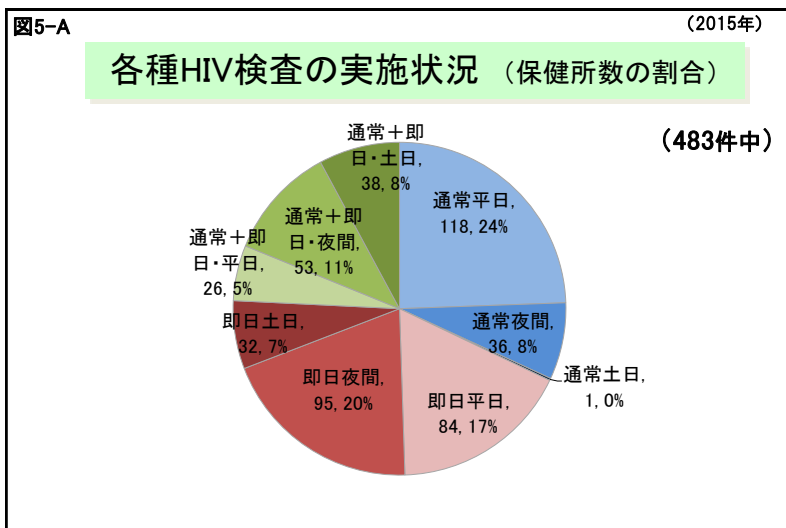
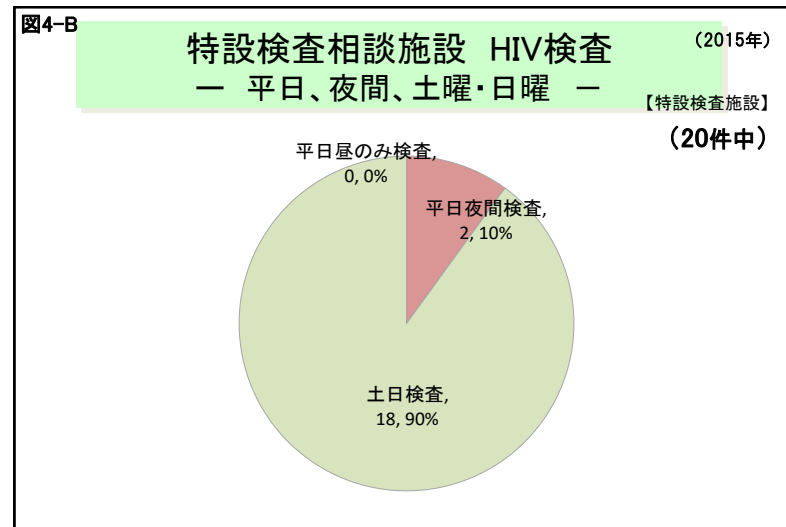
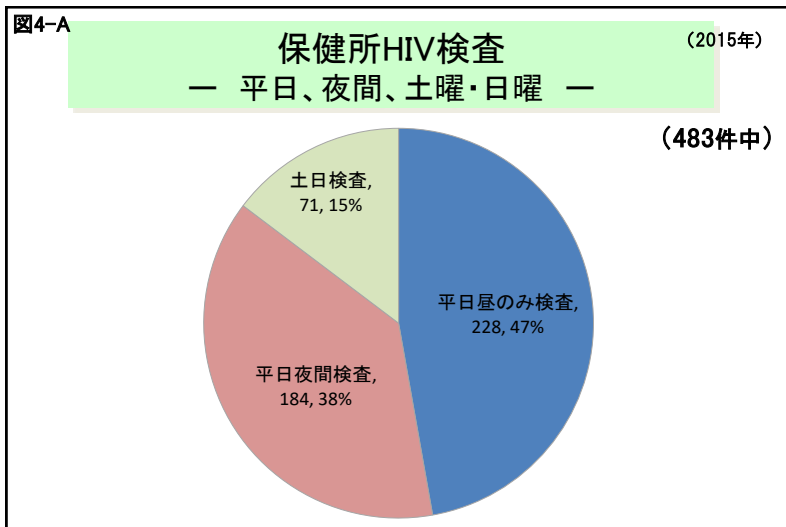
2. 学会発表（国内）

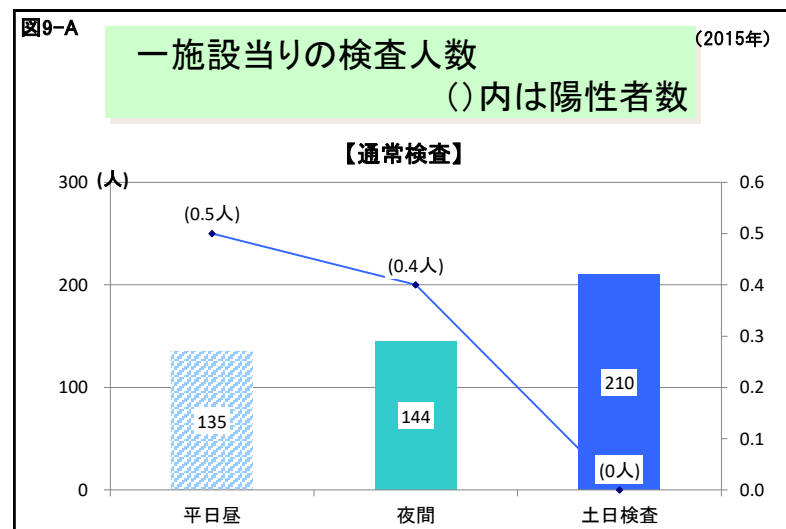
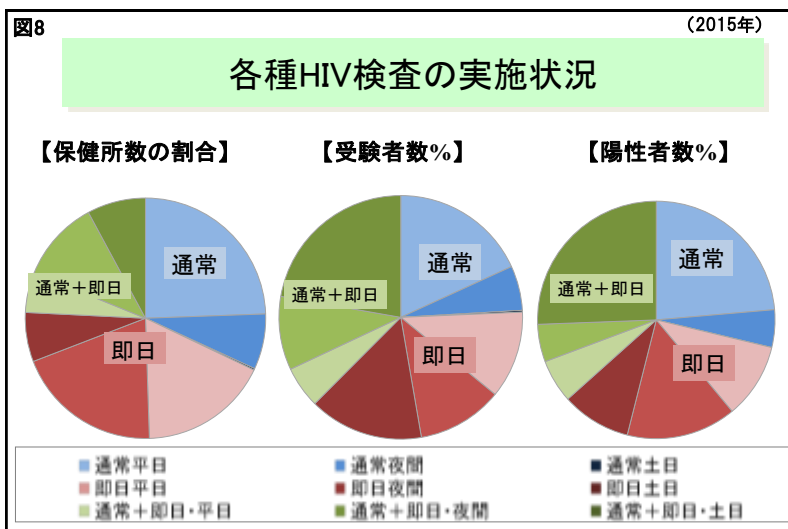
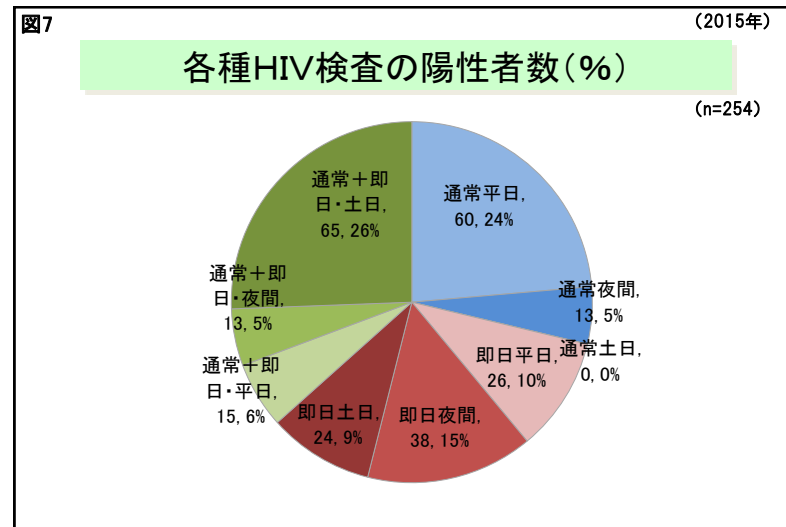
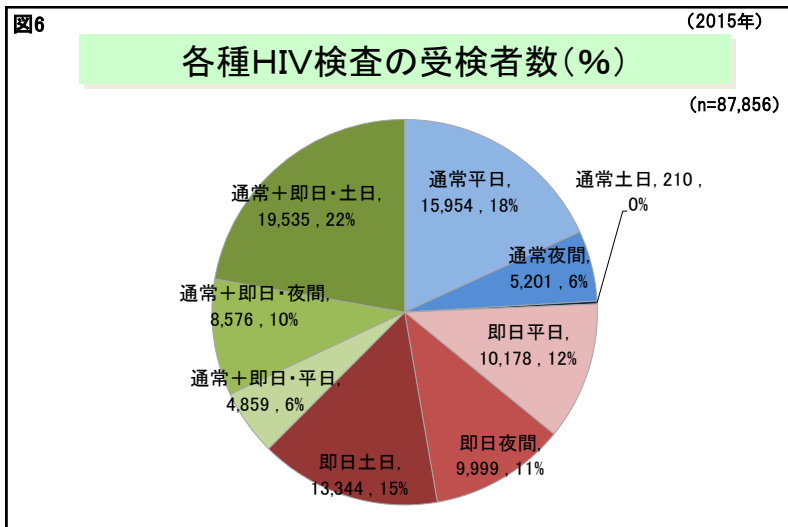
1) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、今井光信、加藤真吾. 民間検査センターにおける HIV 検査の実施状況に関する調査. 日本エイズ学会、2015年12月1日、東京.

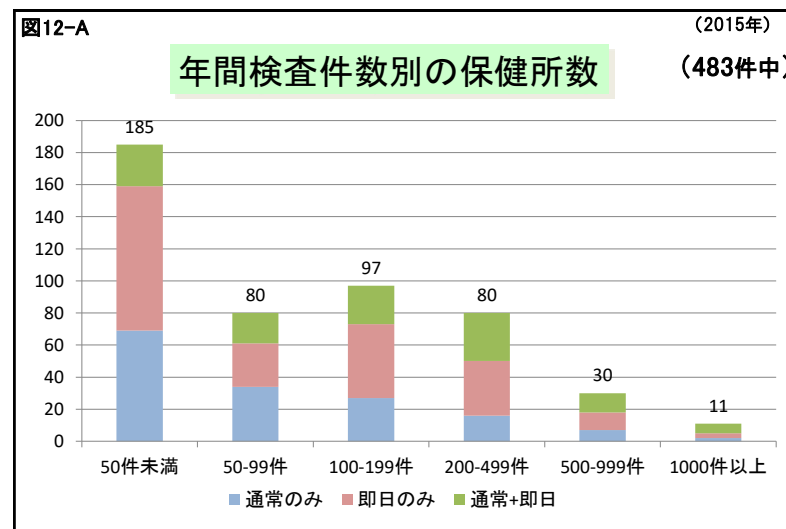
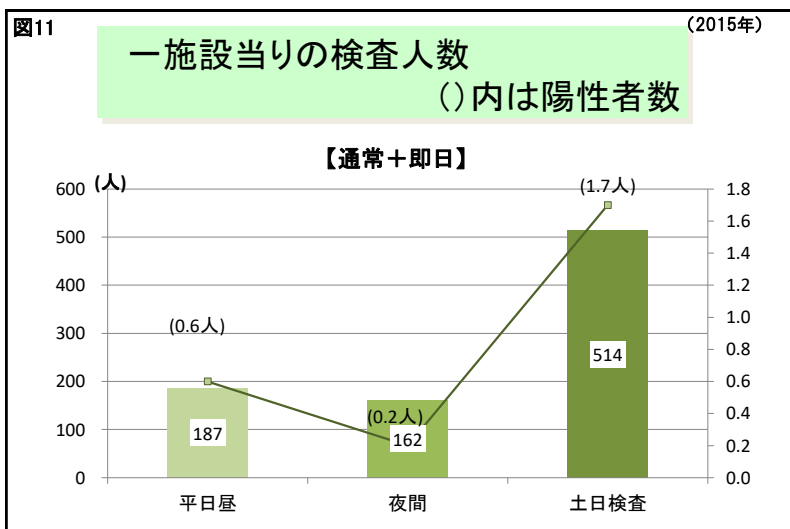
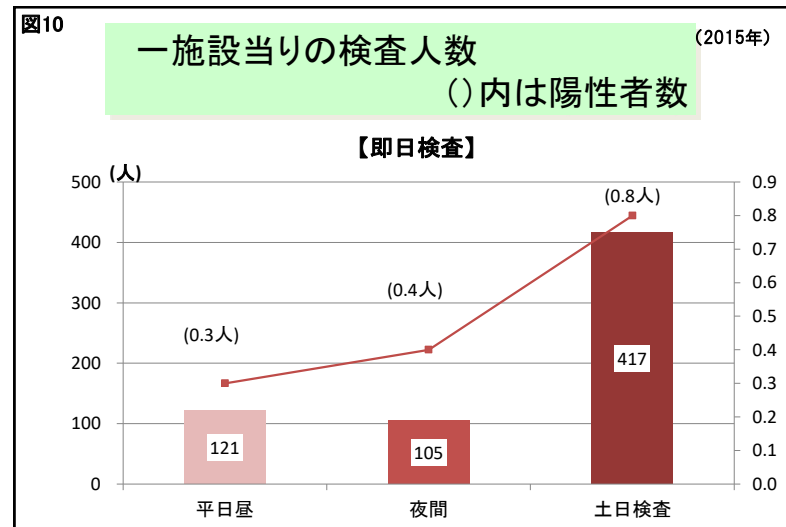
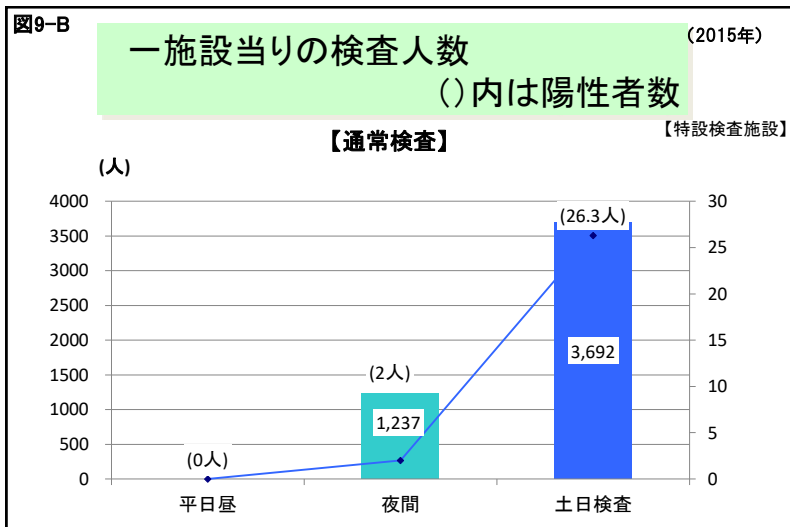
2) 近藤真規子、佐野貴子、井戸田一朗、山中晃、川畑拓也、森 治代、岩室紳也、吉村幸浩、立川夏夫、今井光信. 新規 HIV 感染

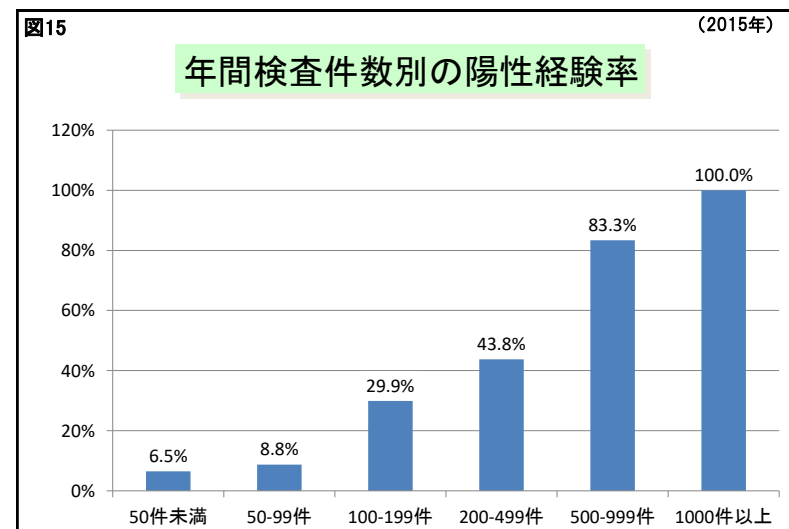
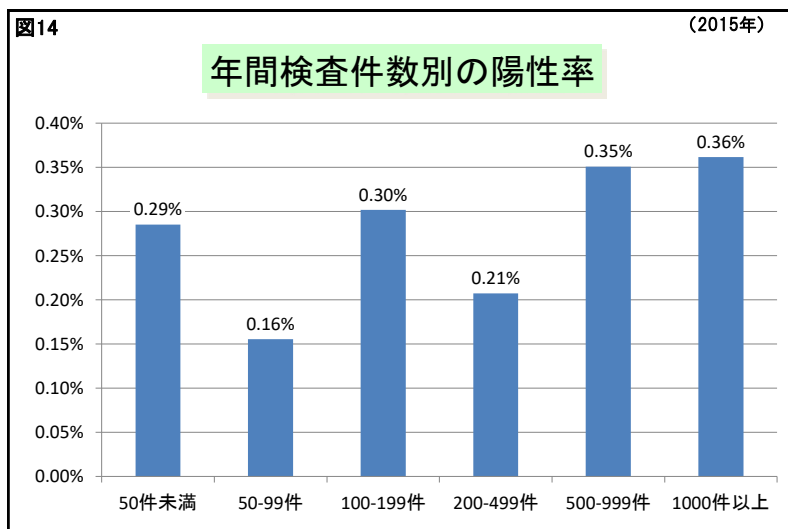
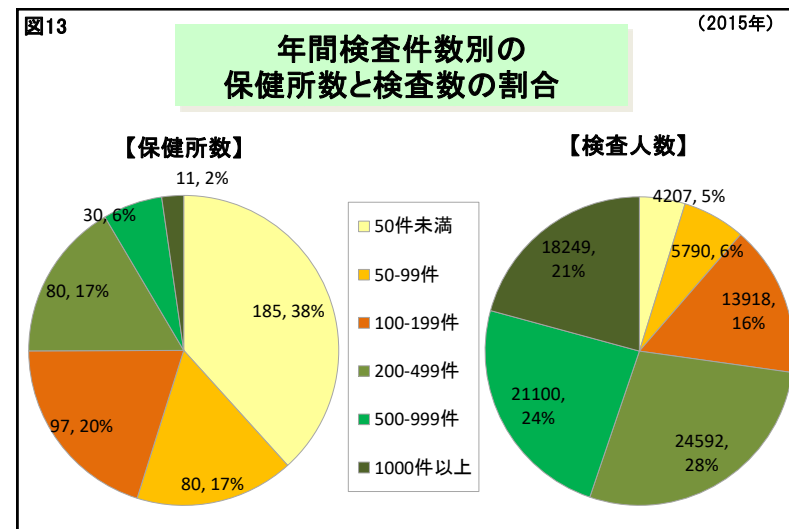
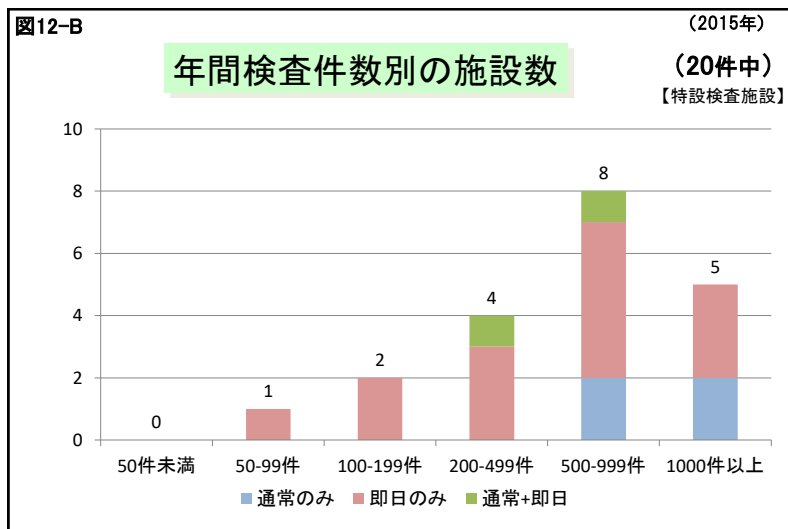
者における年次別感染初期割合の推移. 日本エイズ学会、2015年12月1日、東京.

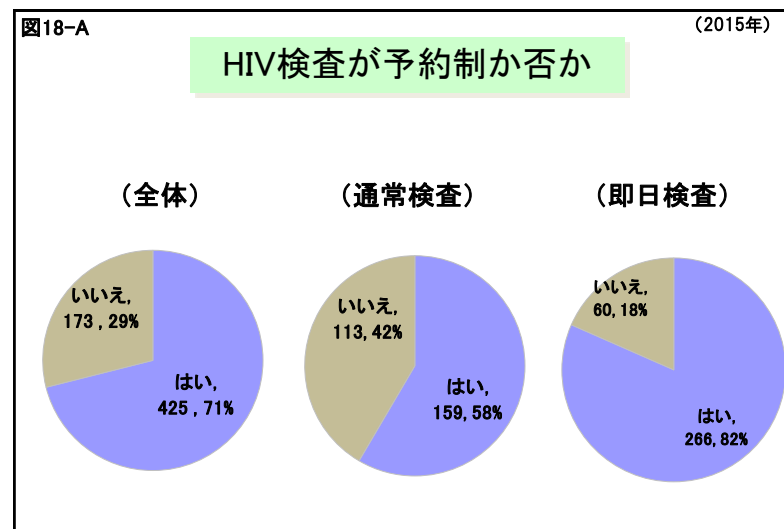
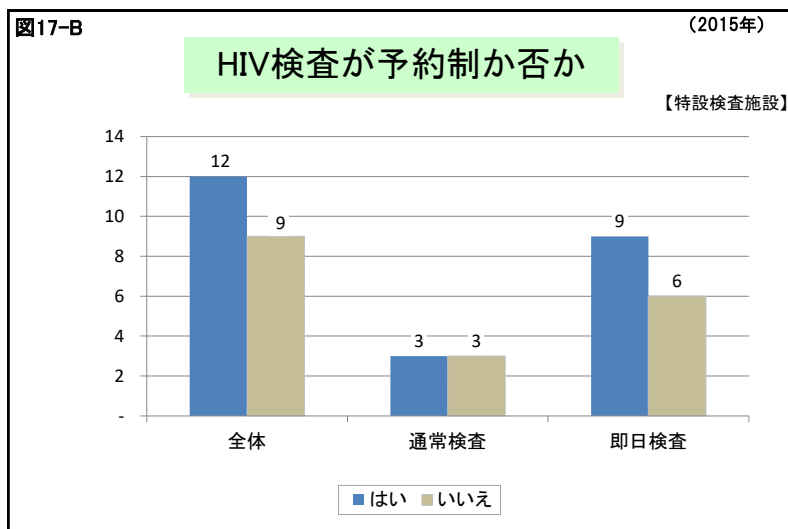
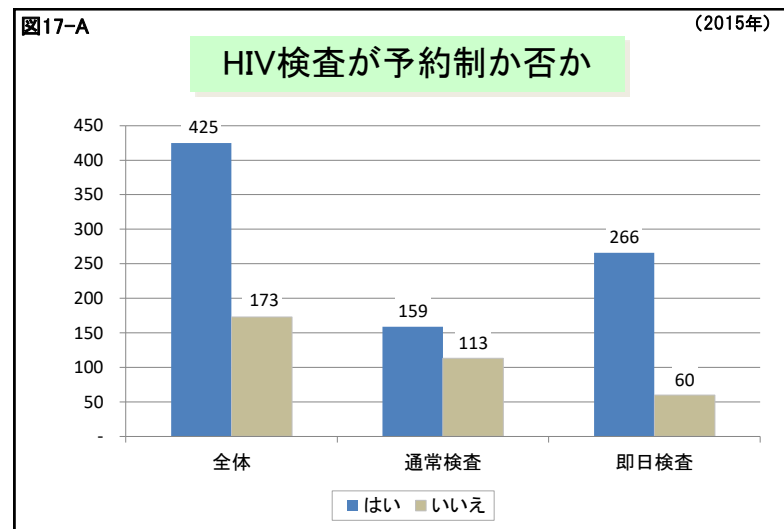
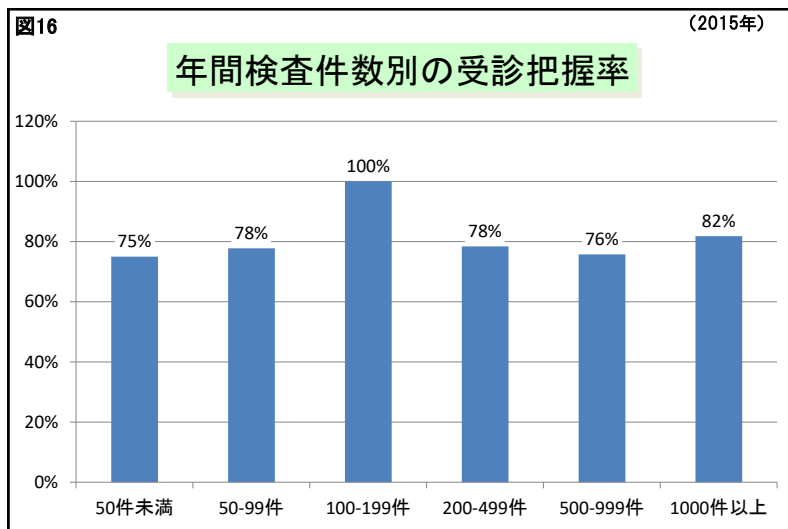


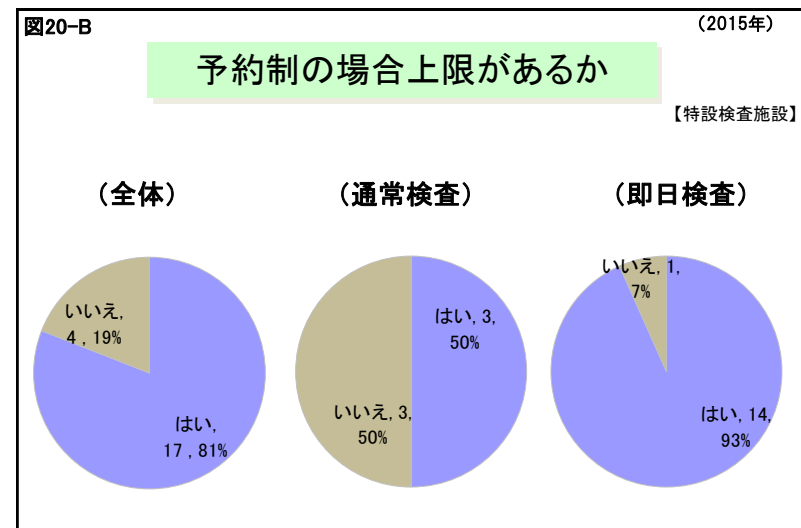
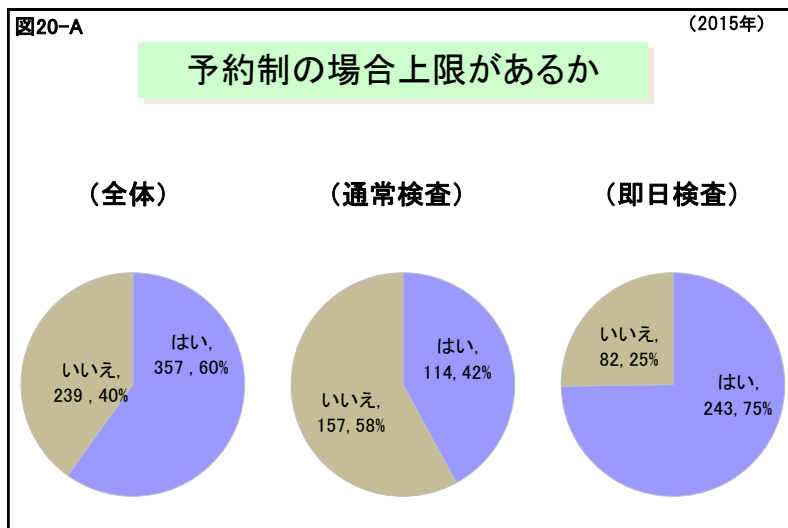
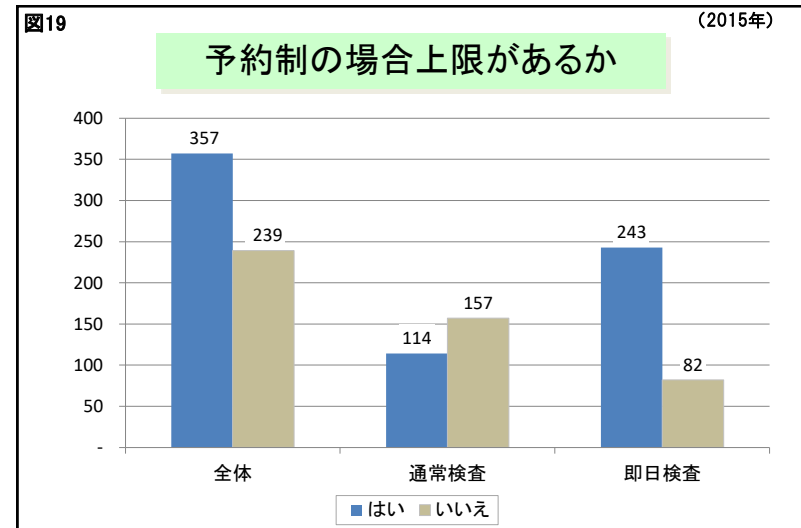
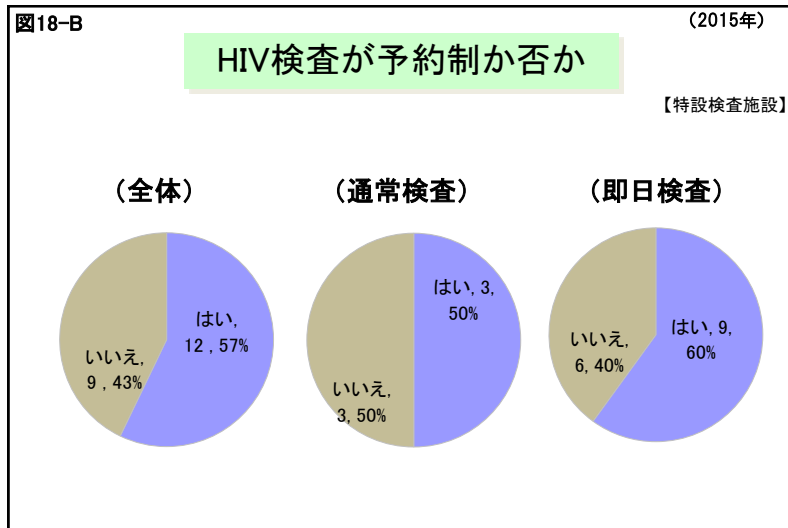


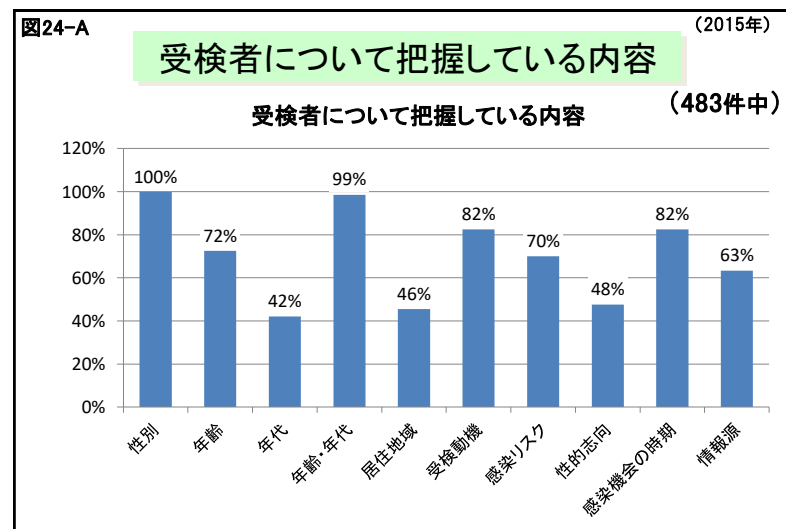
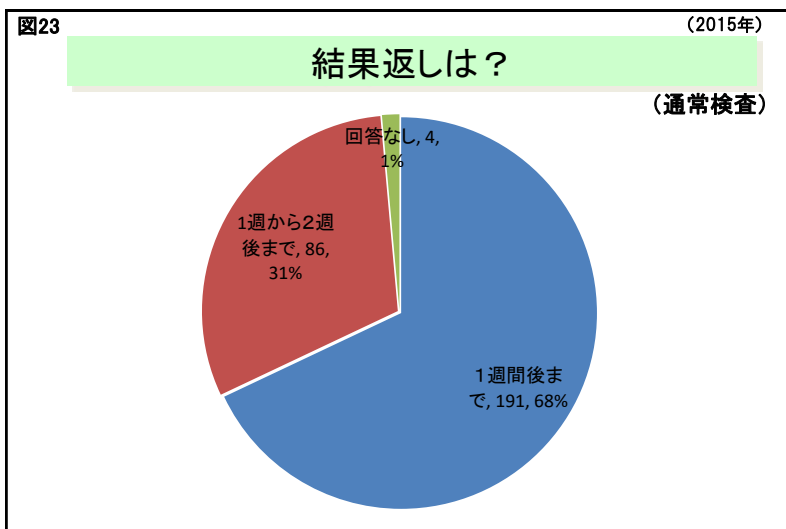
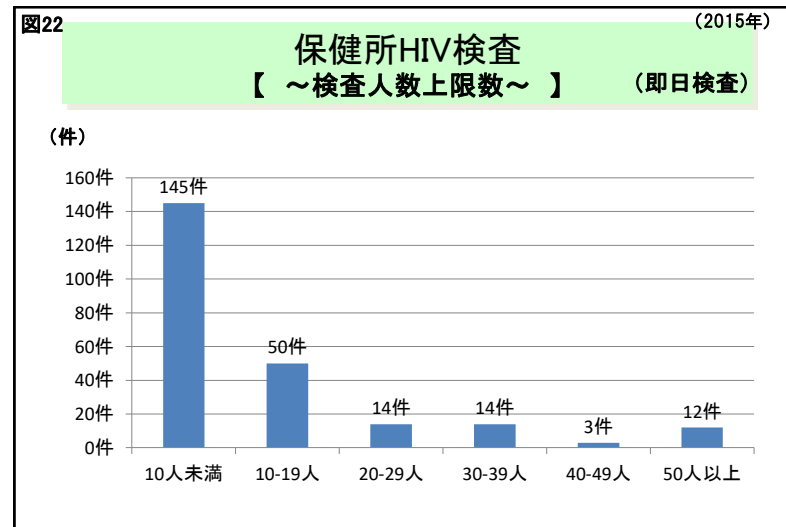
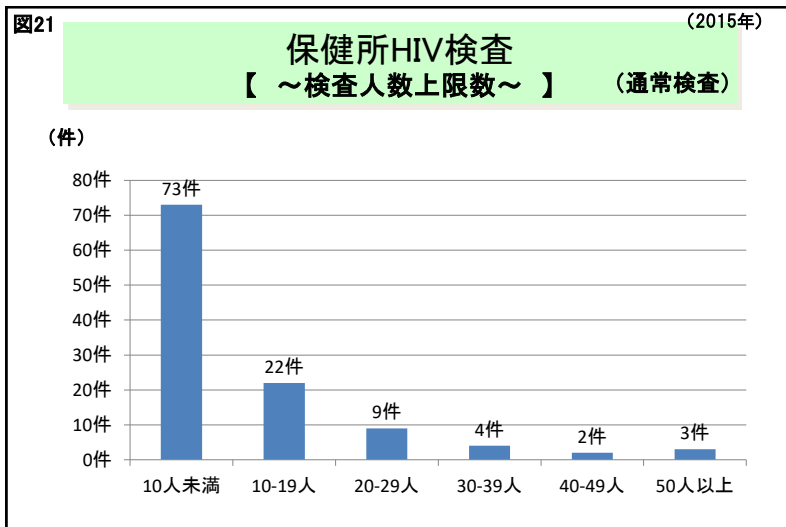


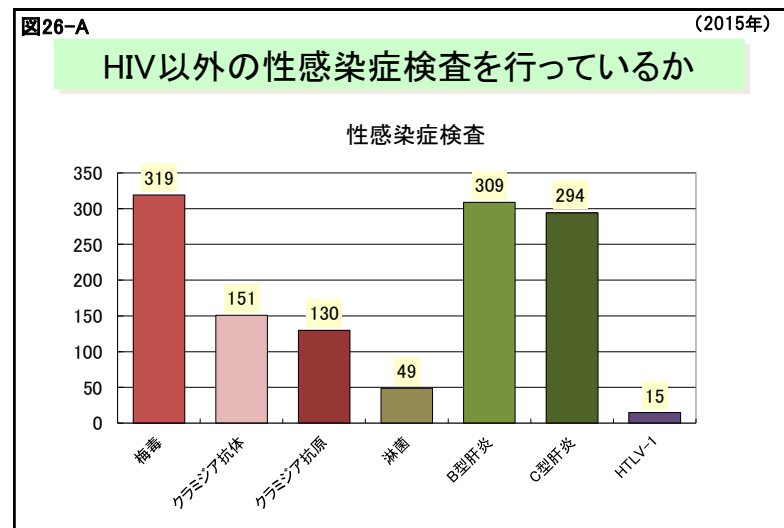
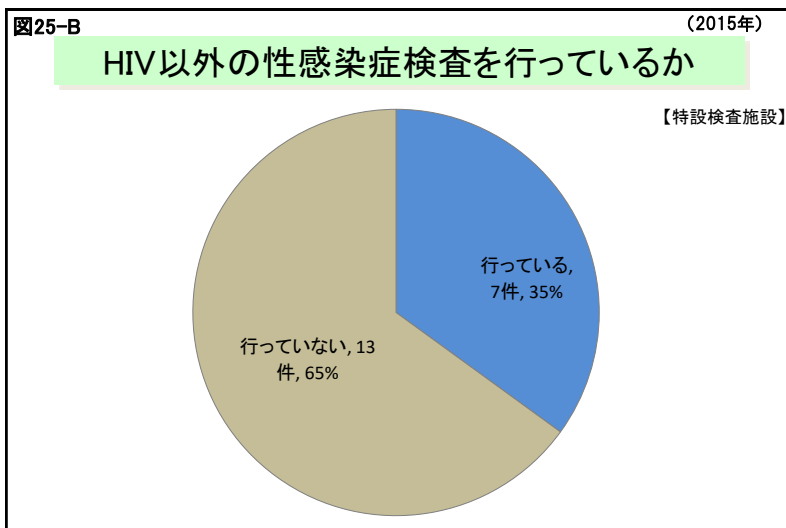
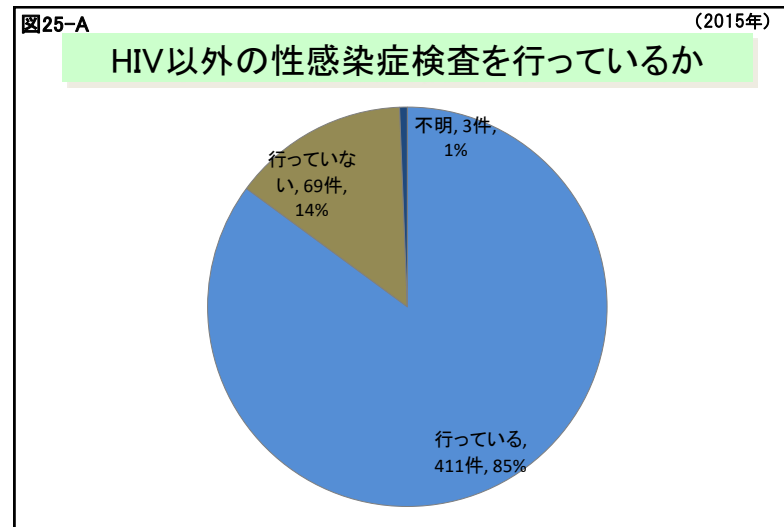
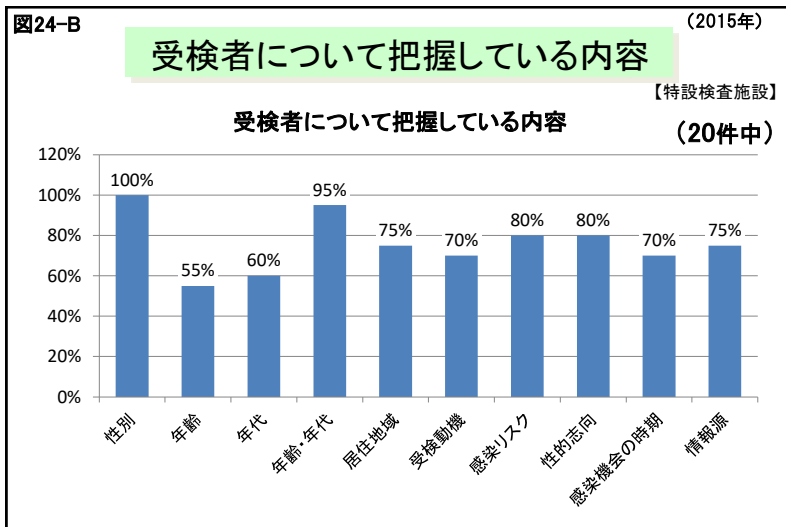


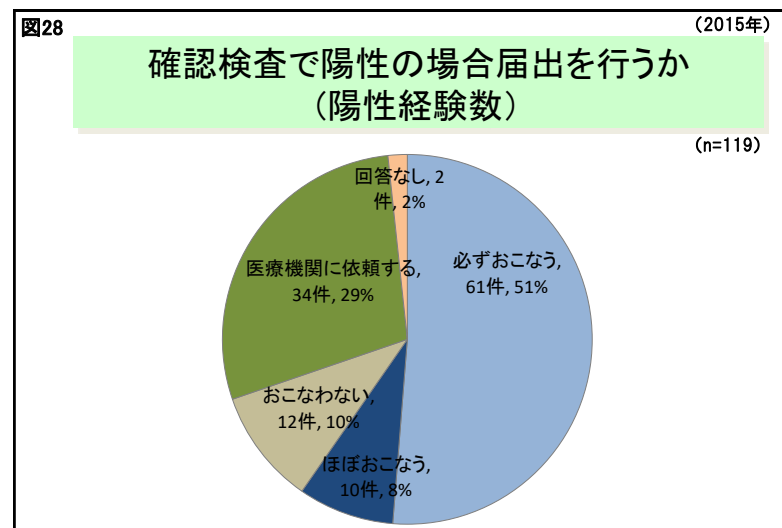
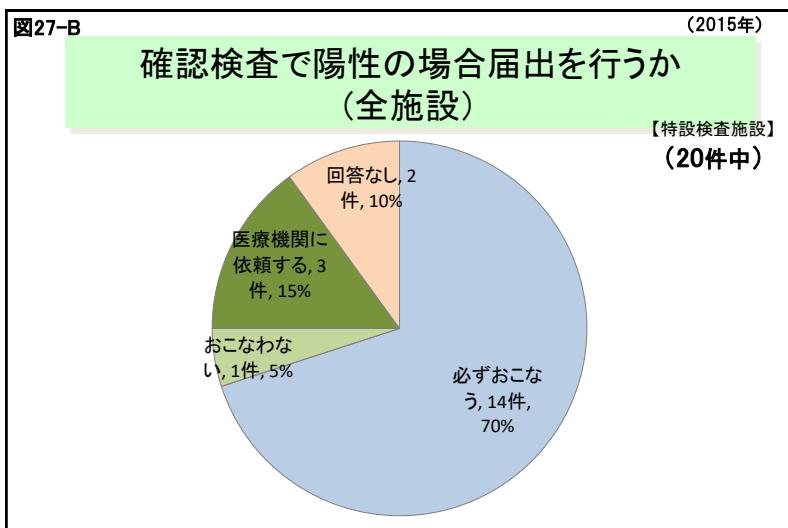
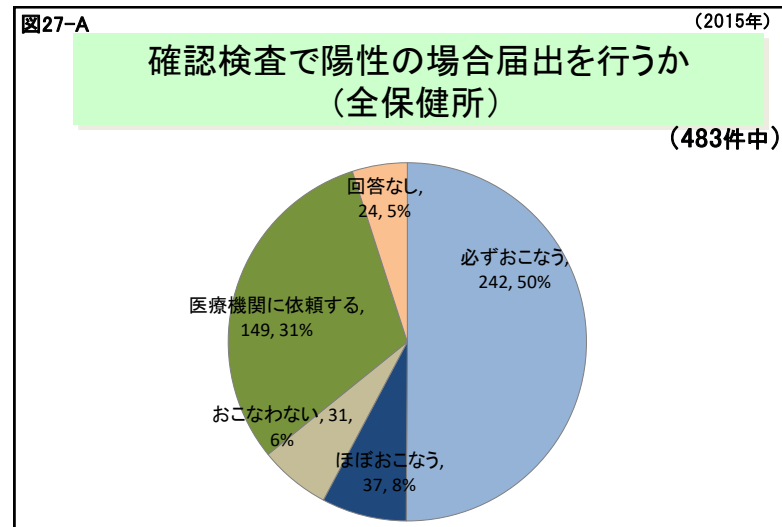
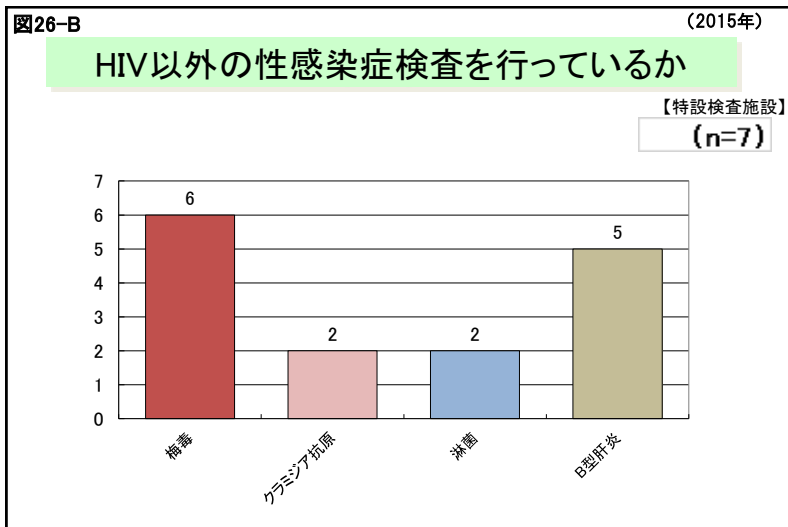


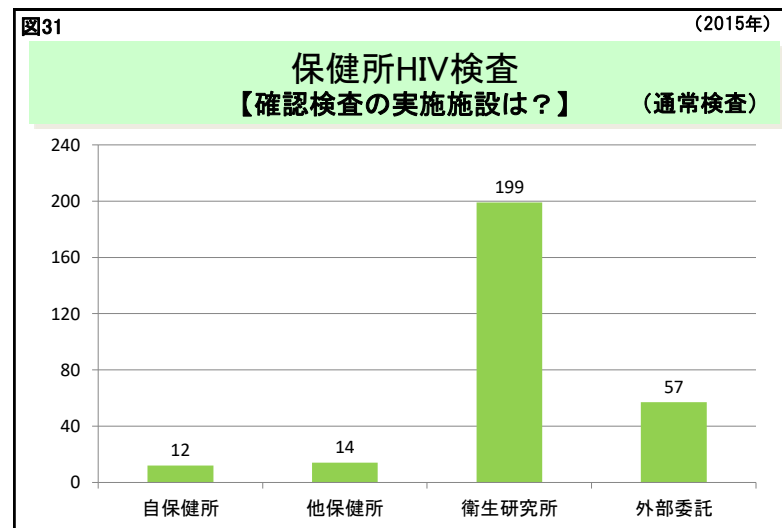
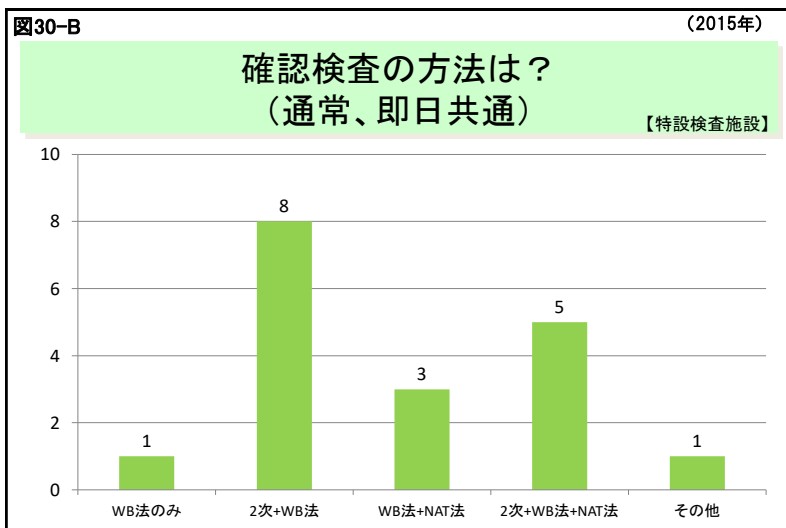
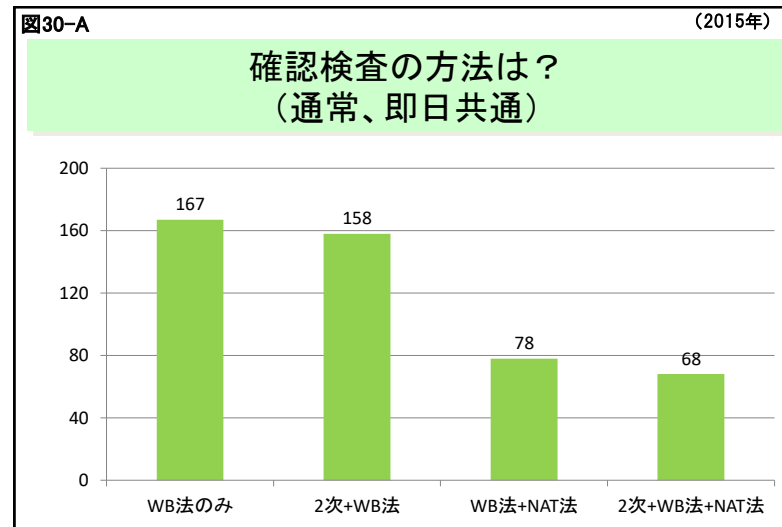
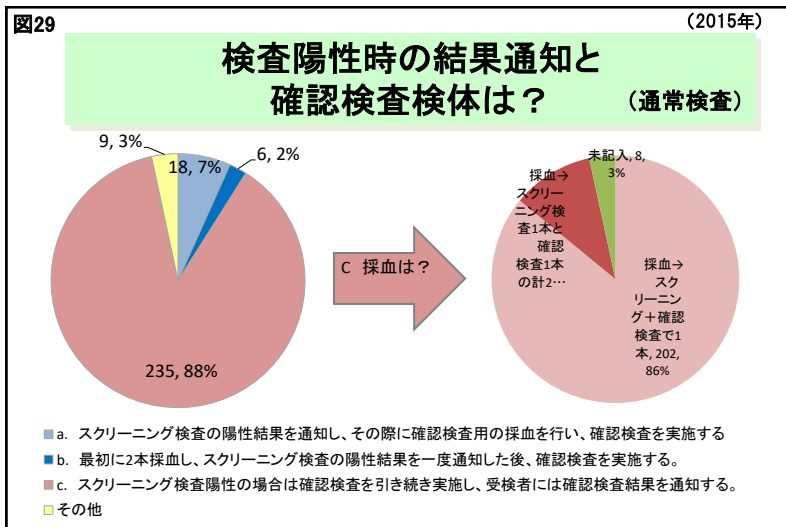


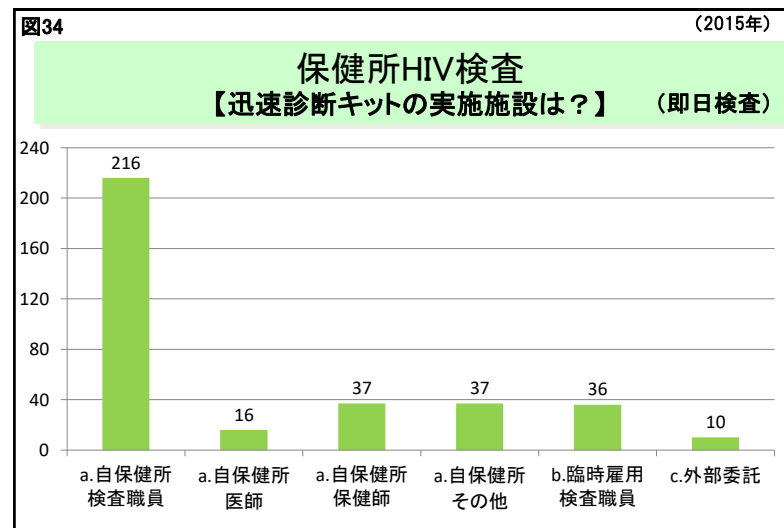
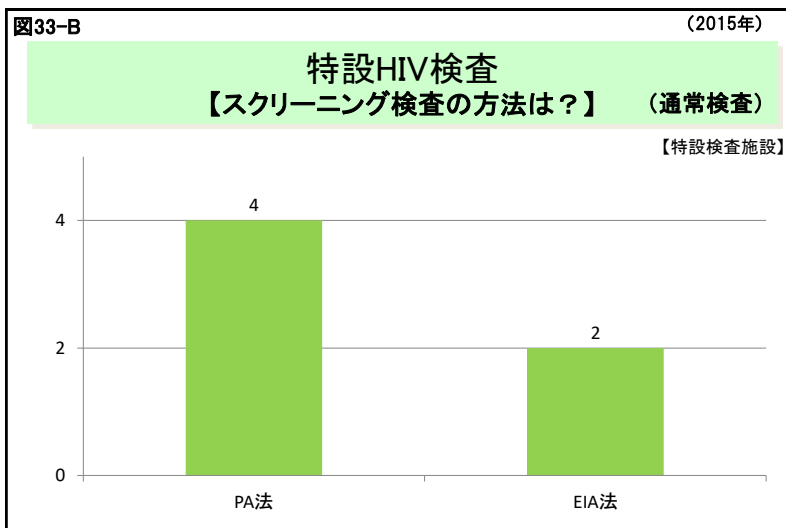
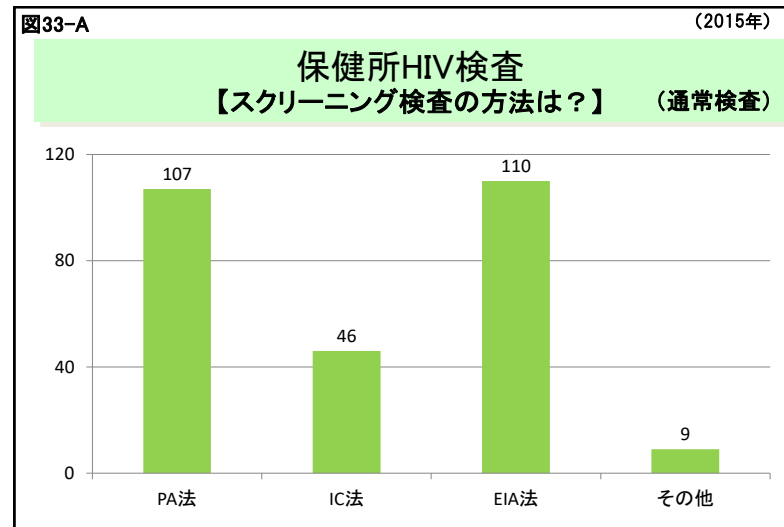
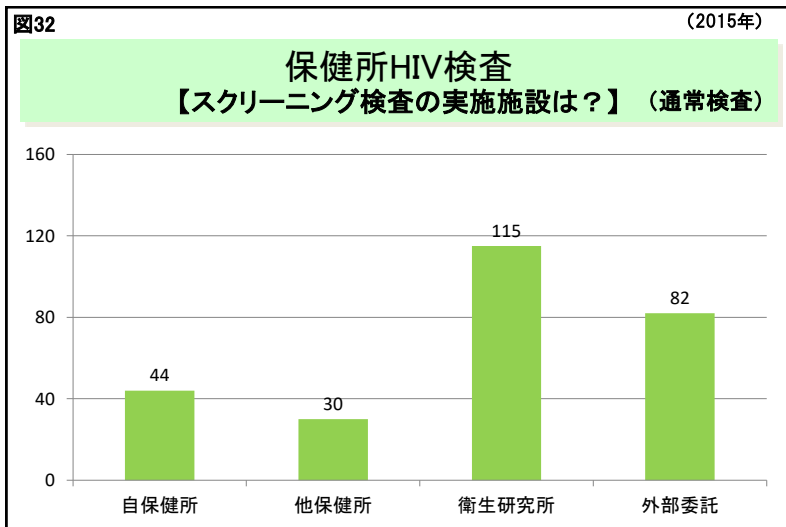


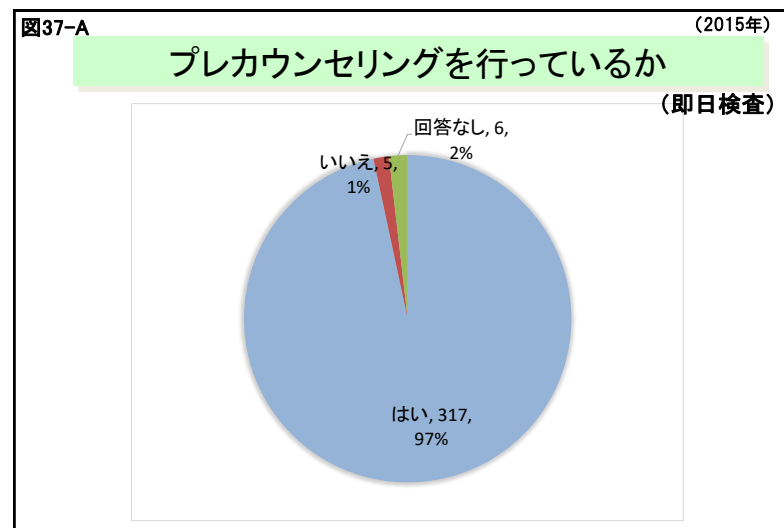
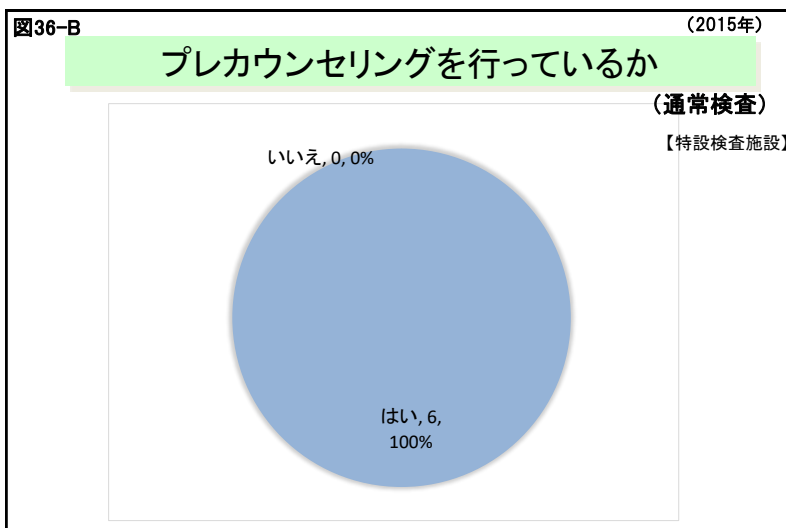
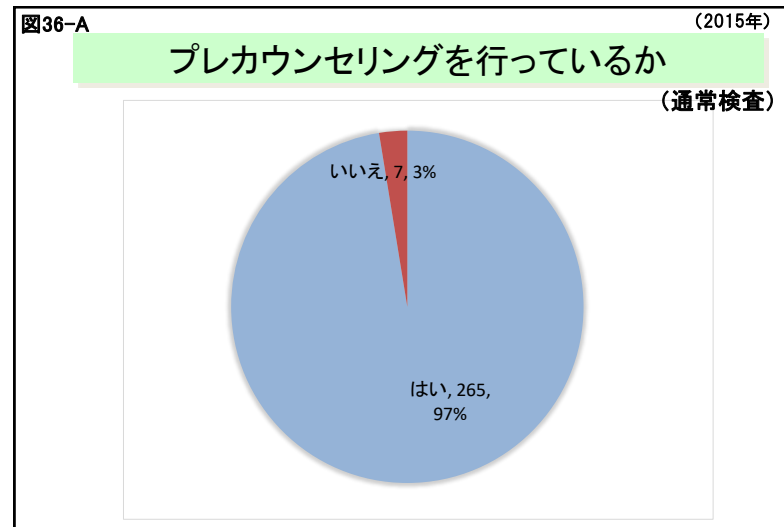
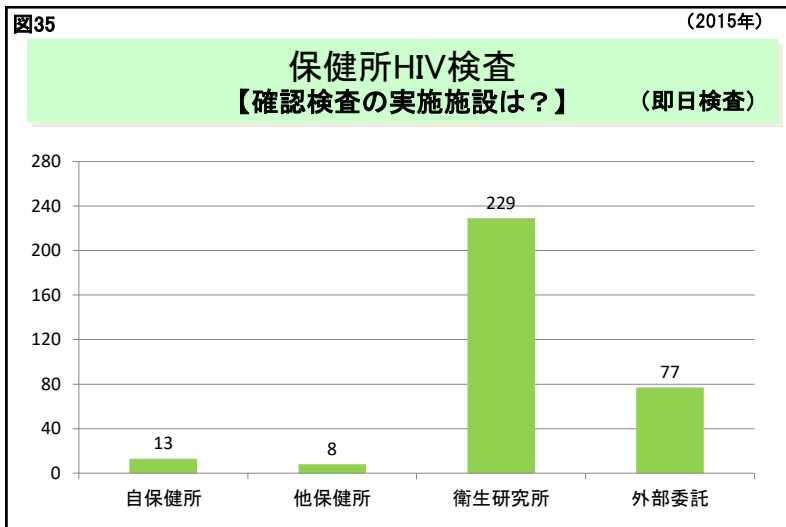


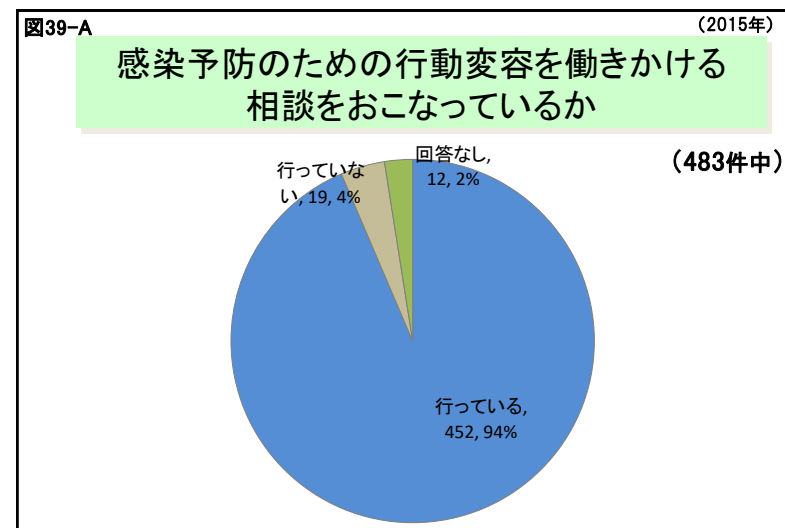
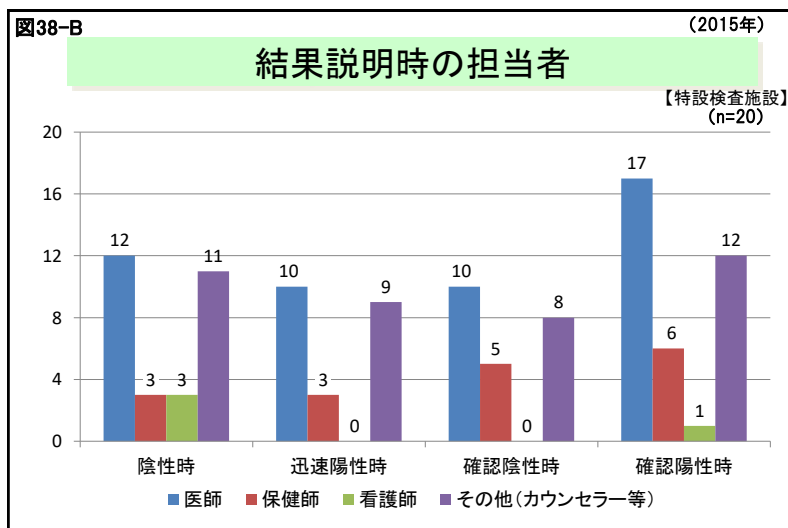
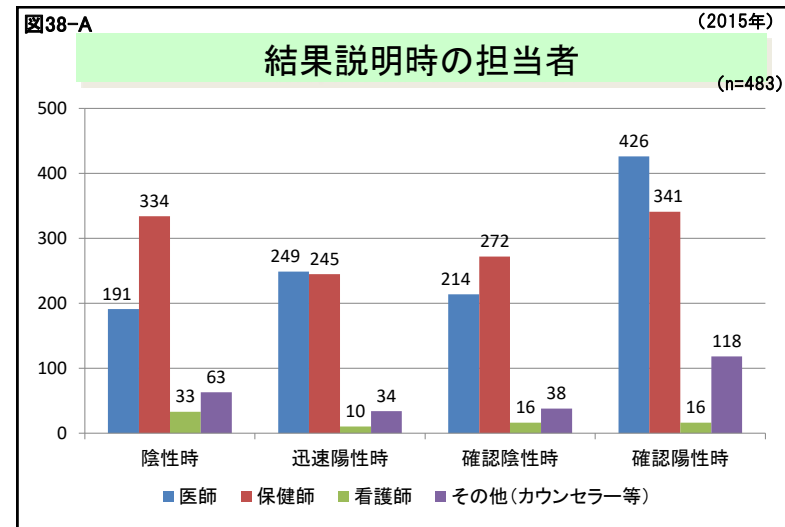
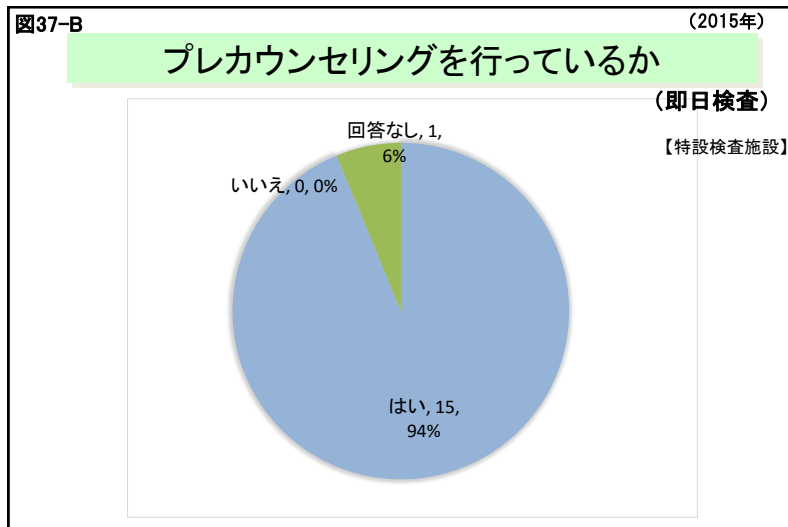


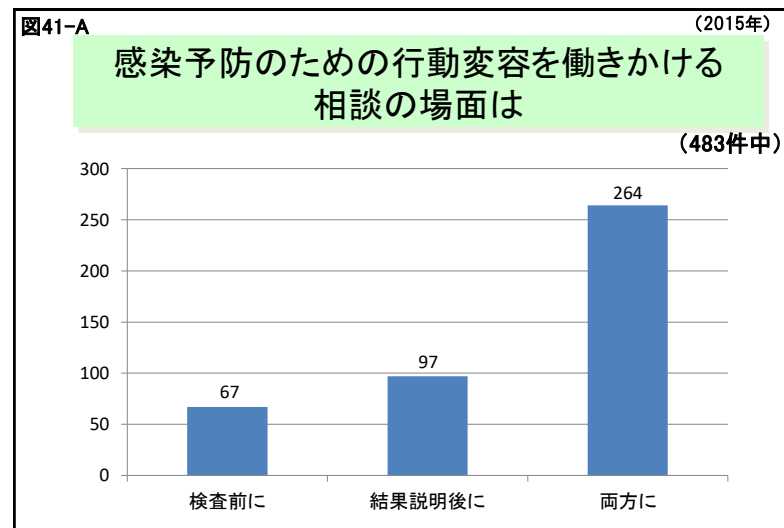
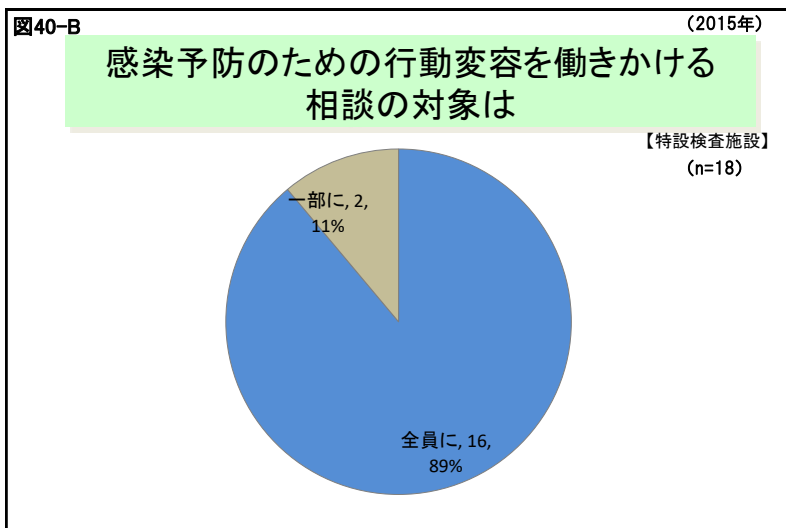
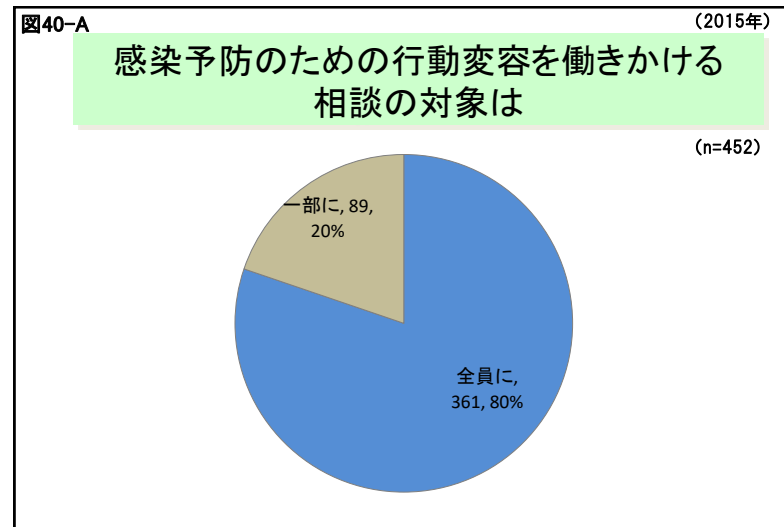
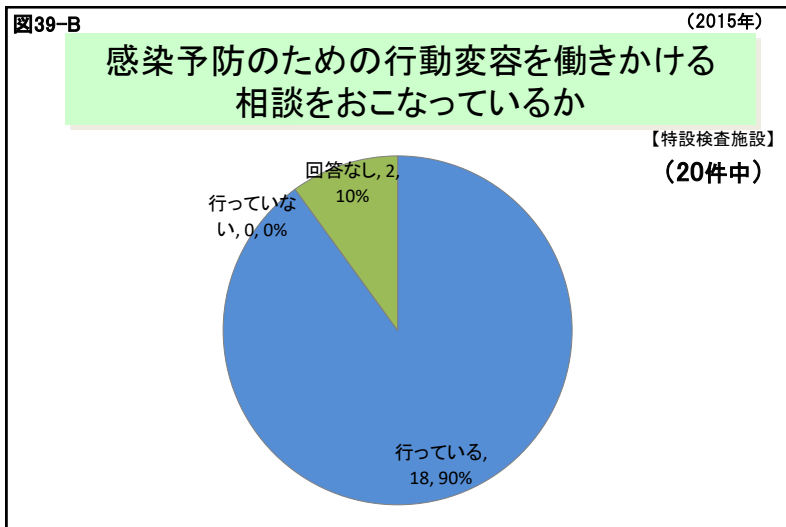


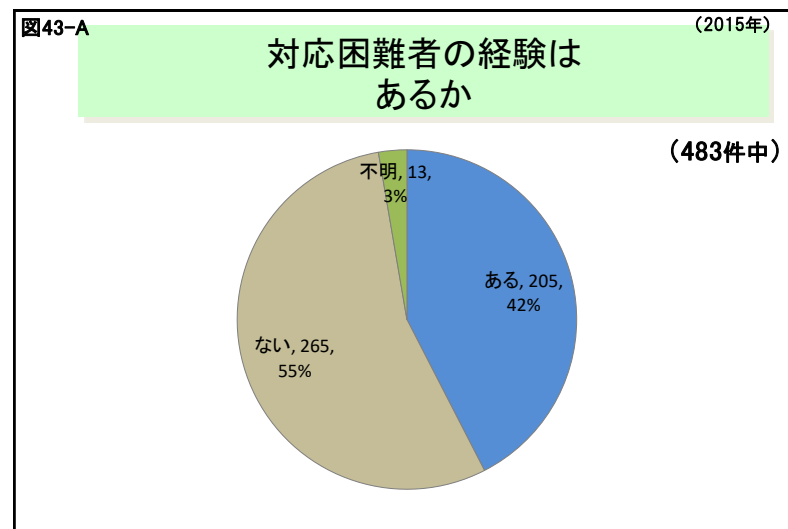
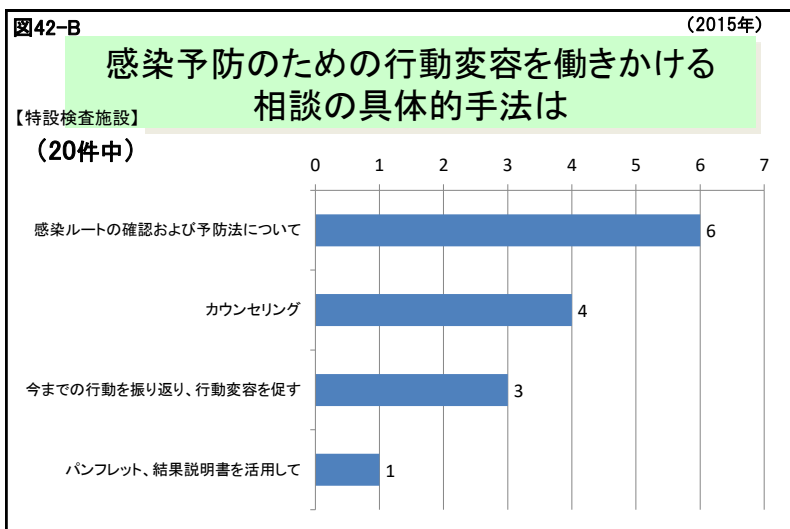
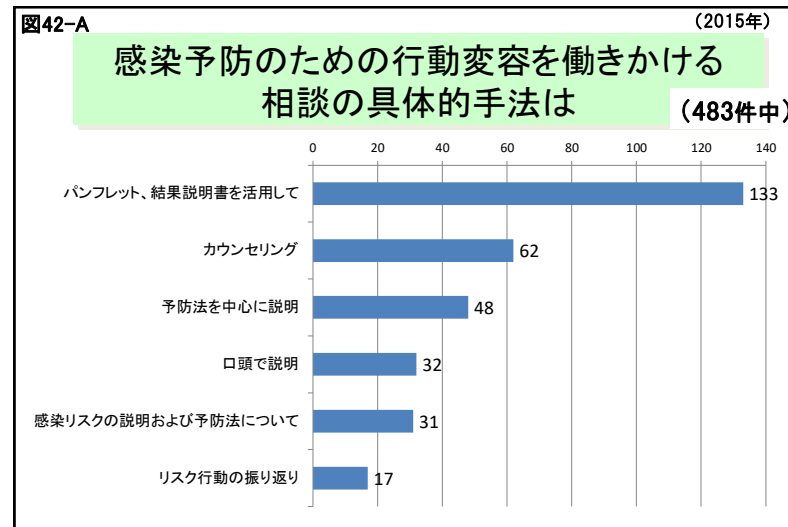
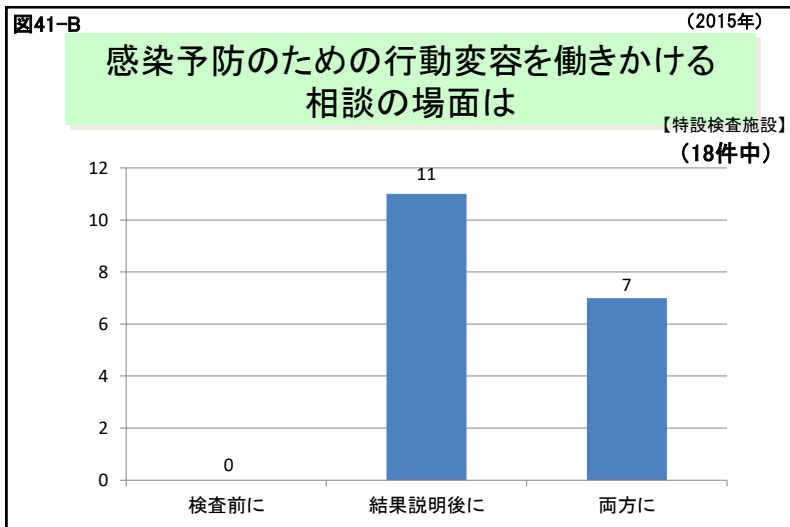


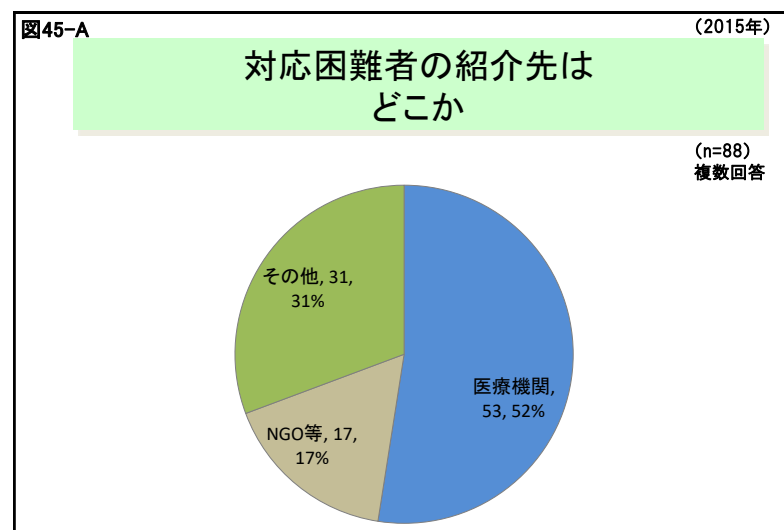
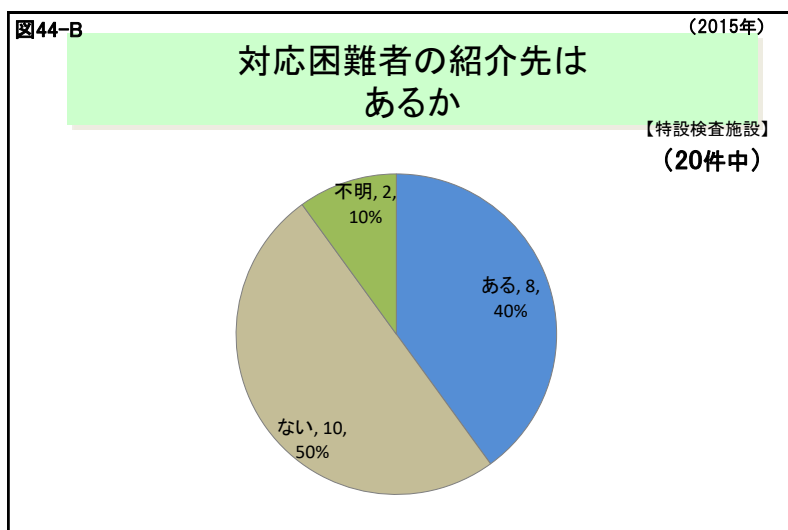
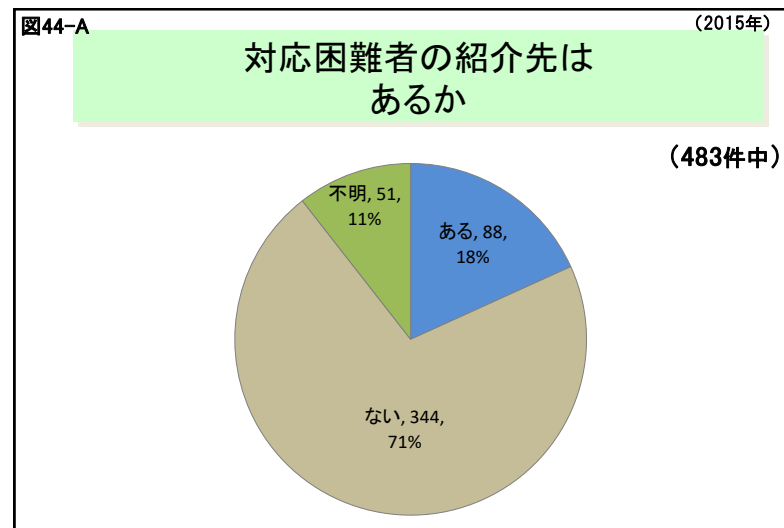
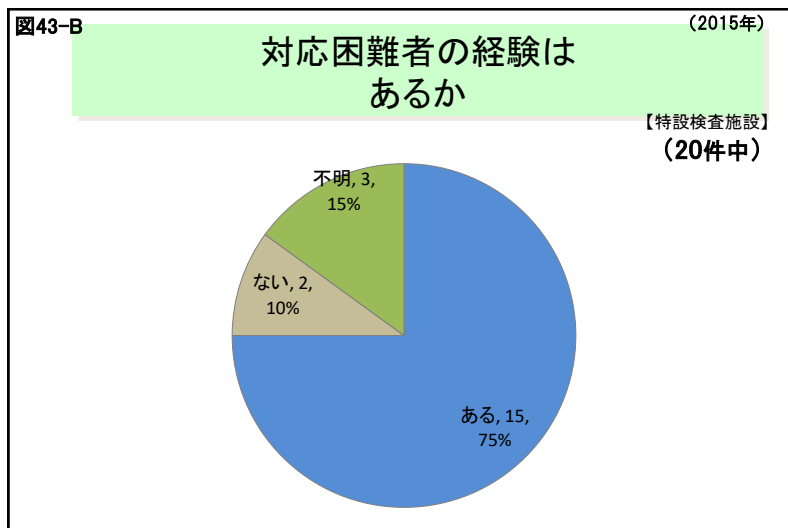


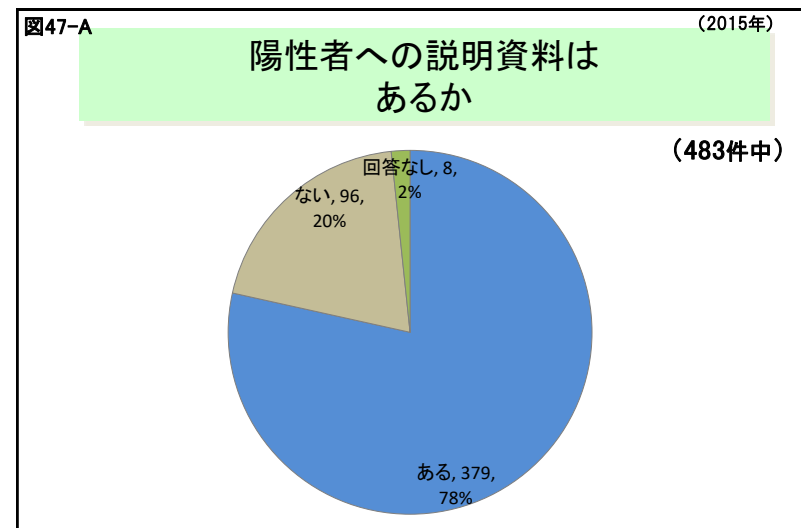
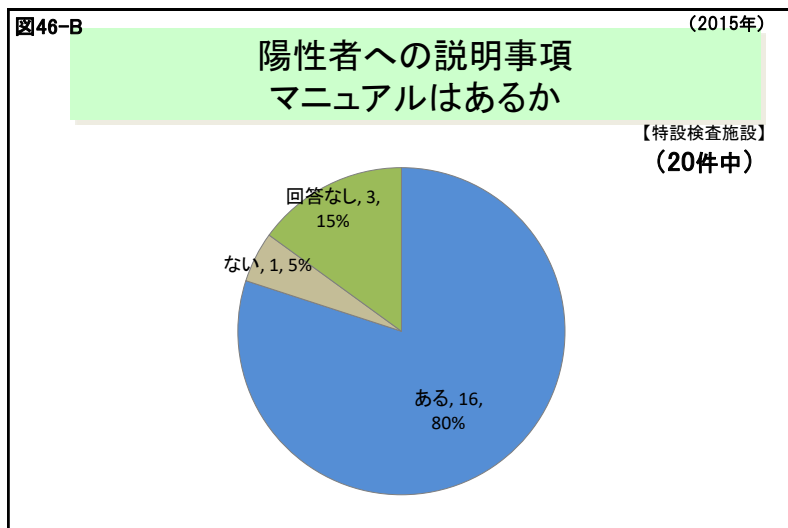
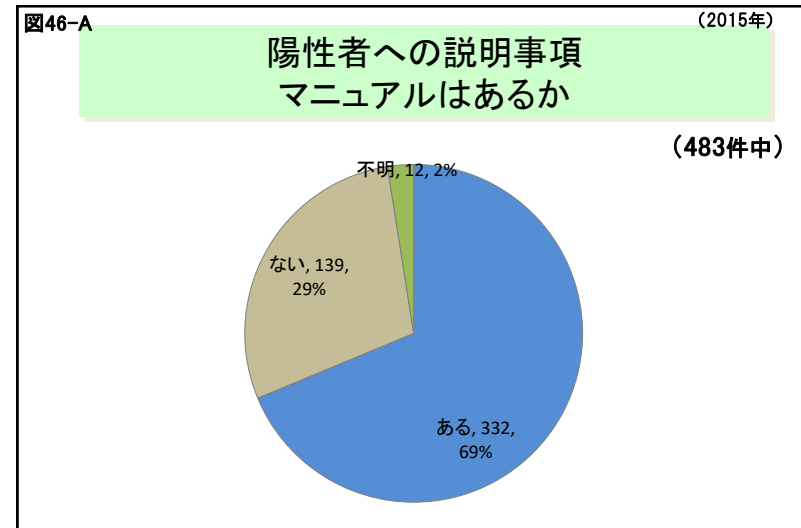
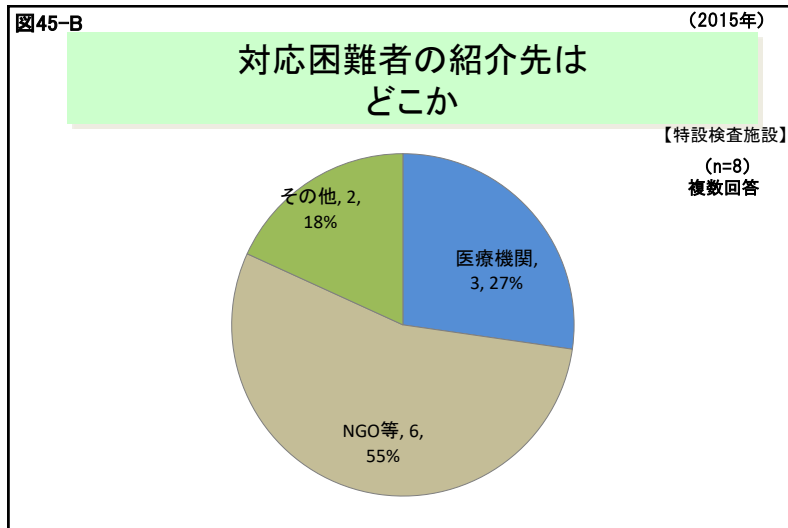


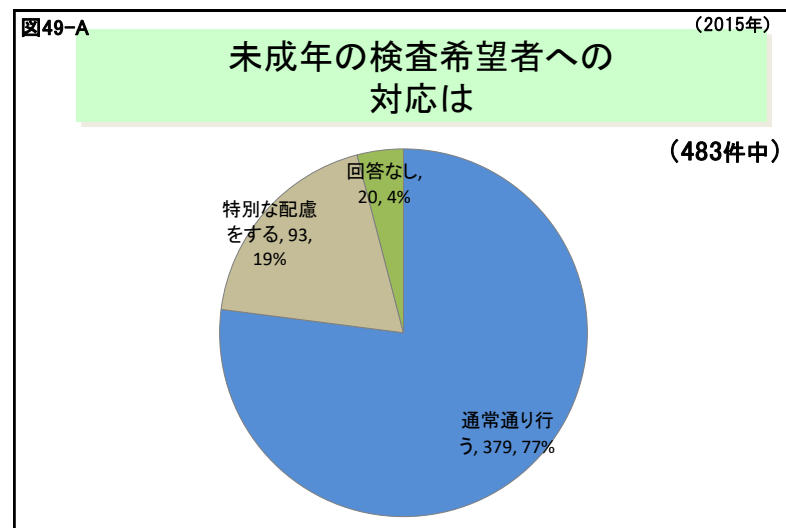
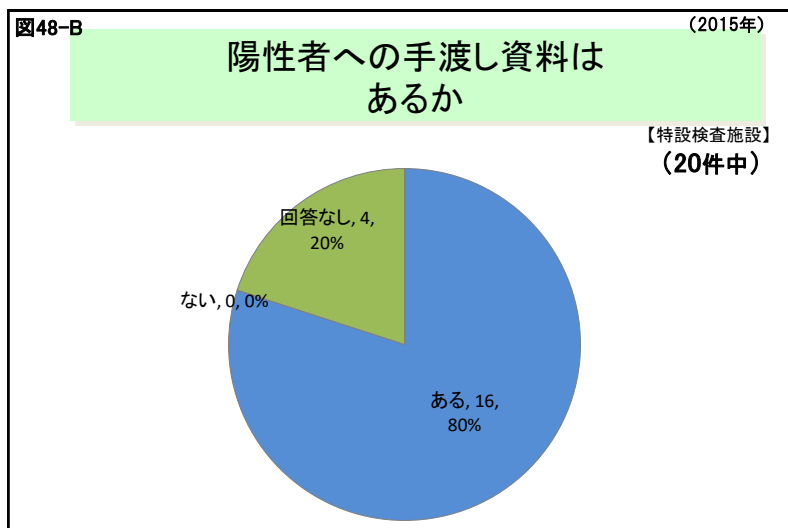
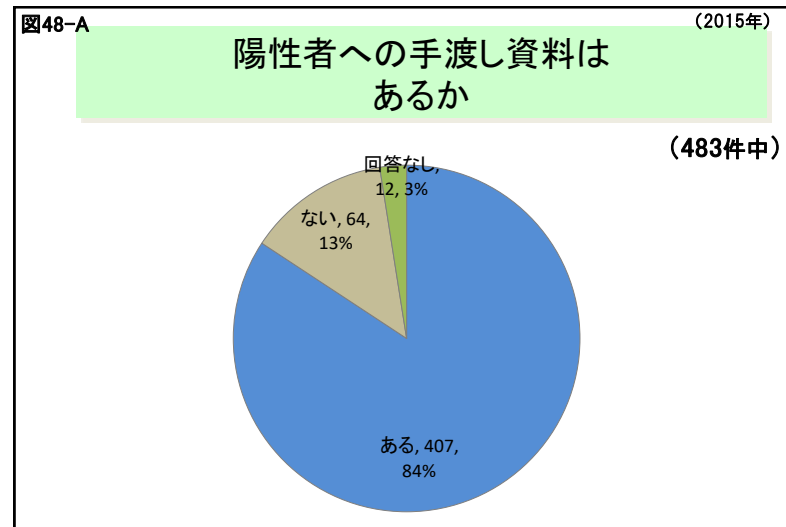
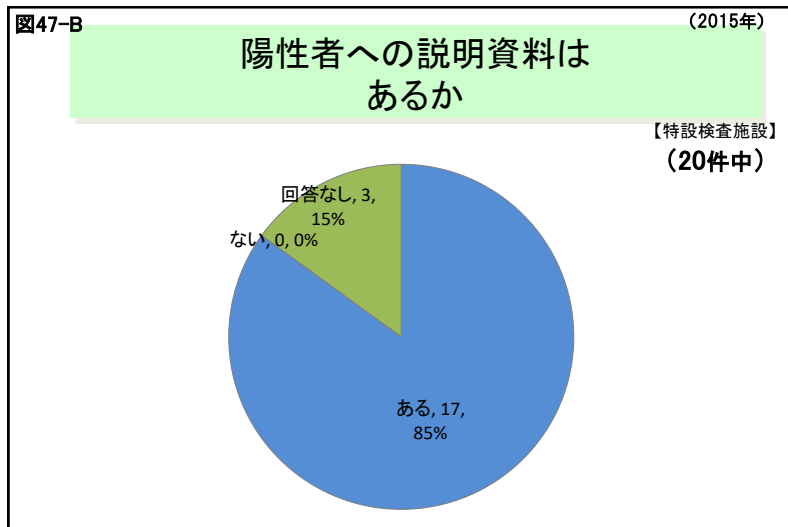


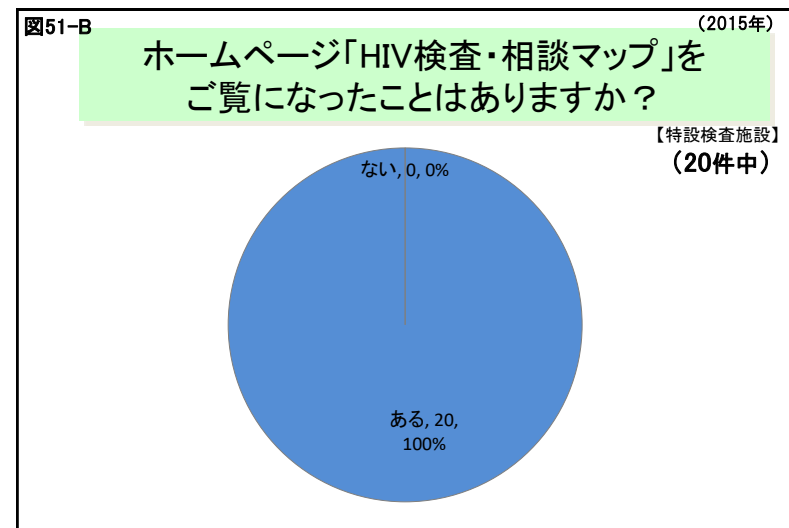
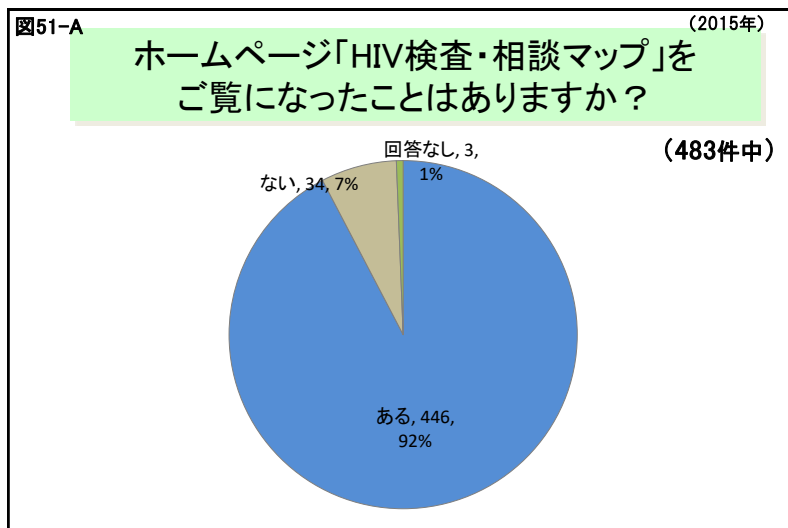
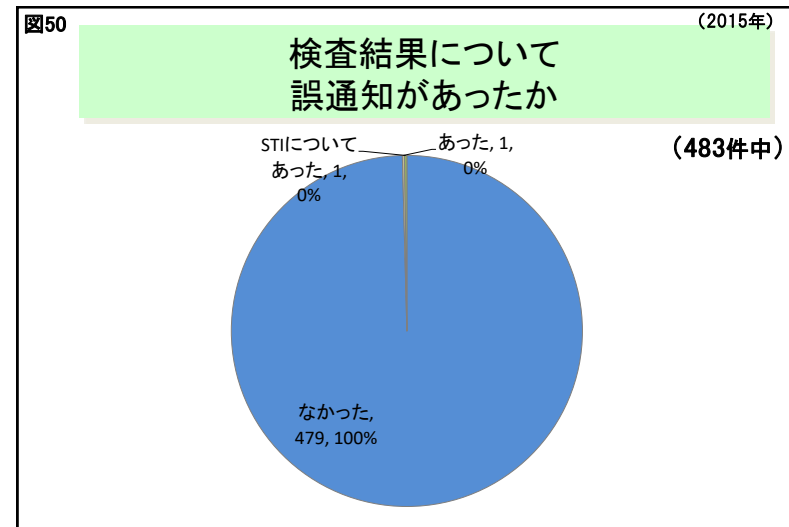
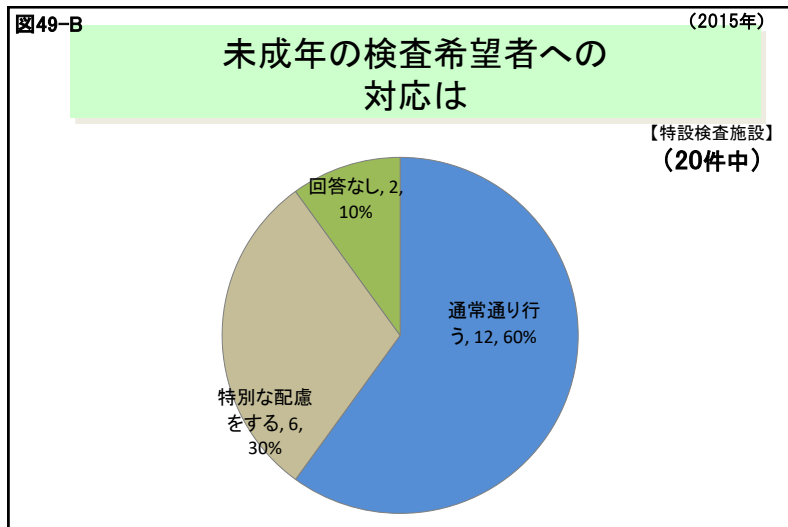


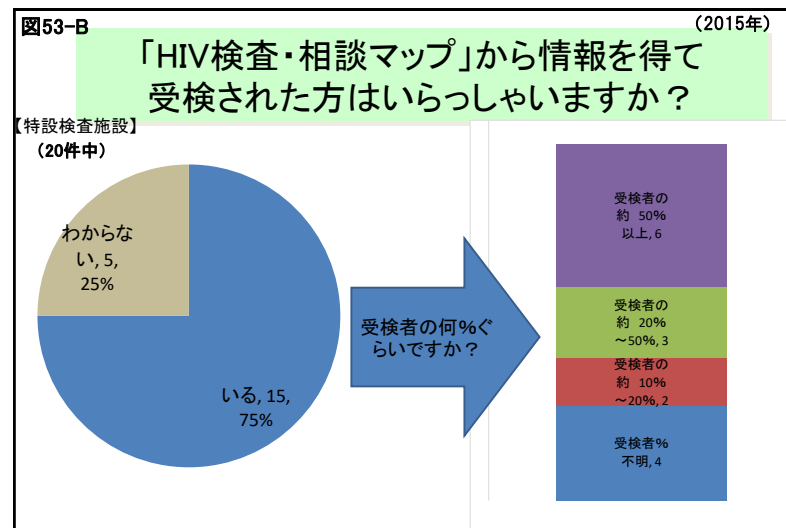
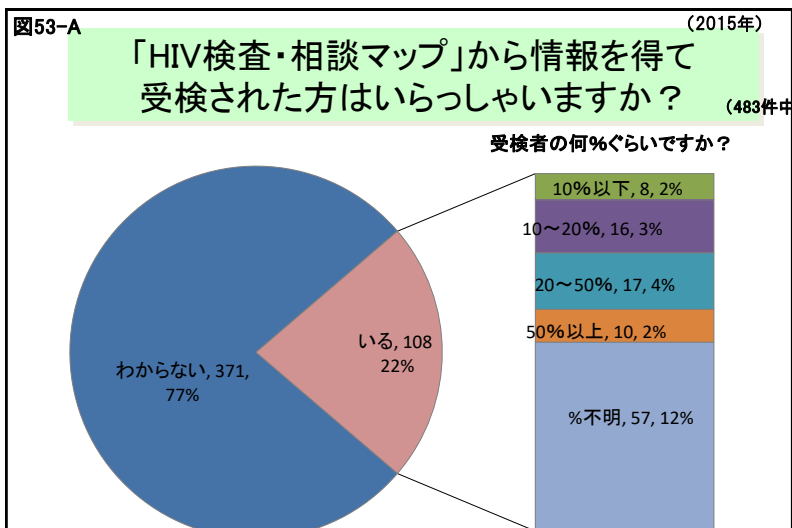
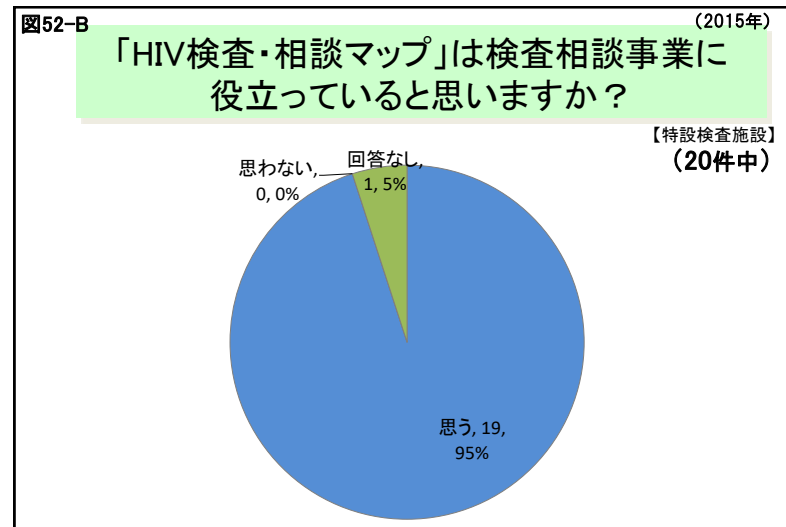
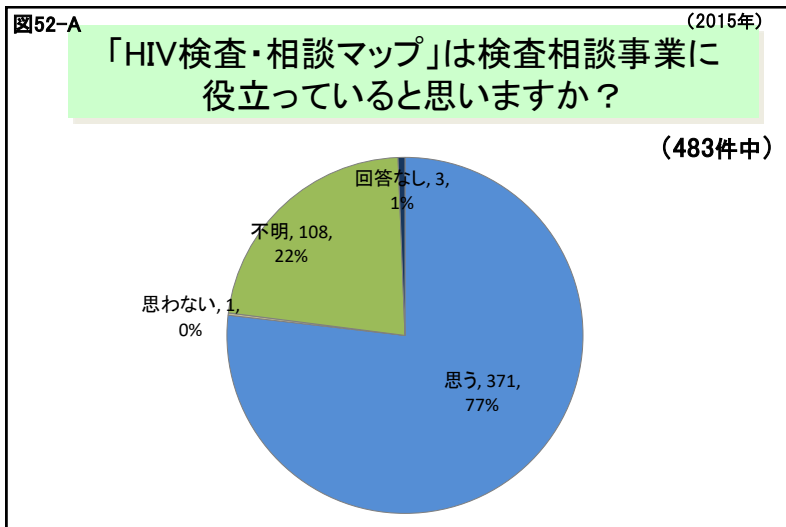


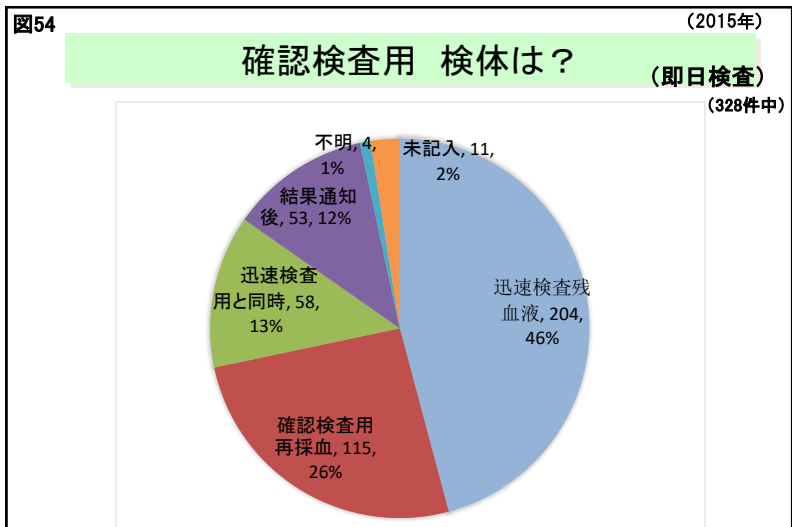












保健所における HIV 検査体制に関する調査

1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？

(n=484)

2016/3/6

はい	483件	99.8%
いいえ	1件	0.2%

アンケート送付数
回収数

565
484 85.7%

「はい」と答えた保健所 → 平成27年1～12月の実施状況をお教え下さい。(n=483)

① HIV検査件数

検査数	87,856
うち陽性数	254
陽性率	0.29%

陽性経験数

陽性者があった保健所	119件	24.6%
陽性者がなかった保健所	364件	75.4%
回答なし		

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数	検査件数	陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数		
50件未満	185	38.3%	4,207	4.8%	12	0.29%	6.5%	12
50-99件	80	16.6%	5,790	6.6%	9	0.16%	8.8%	7
100-199件	97	20.1%	13,918	15.8%	42	0.30%	29.9%	29
200-499件	80	16.6%	24,592	28.0%	51	0.21%	43.8%	35
500-999件	30	6.2%	21,100	24.0%	74	0.35%	83.3%	25
1000件以上	11	2.3%	18,249	20.8%	66	0.36%	100.0%	11

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数: 1,699人 (1.93%)

③ HIV検査での結果確認 (陰性者、陽性者別):

	陰性		陽性	
結果を聞きにきた	85,919人	98.1%	238人	93.7%
結果を聞きにこなかった	1,683人	1.9%	16人	6.3%

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験保健所	
ある	277	57.3%	95件	79.8%
ない	190	39.3%	22件	18.5%

(n=119)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 208人 (87.4%)

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数 143人 (56.3%)

2. 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えて下さい。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	411件	85.1%
行っていない	69件	14.3%
不明	3件	0.6%

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に○をしてください。(n=411) 複数回答

梅毒	319	77.6%
クラミジア抗体	151	36.7%
クラミジア抗原	130	31.6%
淋菌	49	11.9%
B型肝炎	309	75.2%
C型肝炎	294	71.5%
HTLV-1	15	3.6%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。 (n=483)

通常検査のみ	155	32.1%
即日検査のみ	211	43.7%
通常+即日	117	24.2%

平日昼のみ検査	228	47.2%
平日夜間検査	184	38.1%
土日検査	71	14.7%

通常のみ+平日昼のみ	118	24.4%
通常のみ+夜間も行っている	36	7.5%
通常+土日検査も	1	0.2%
即日のみ+平日昼のみ	84	17.4%
即日のみ+夜間も行っている	95	19.7%
即日+土日検査も	32	6.6%
通常+即日・平日昼のみ	26	5.4%
通常+即日・夜間も行っている	53	11.0%
通常+即日・土日検査も	38	7.9%

② ア通常検査の場合 (n=272)

A. 予約制ですか？

はい	159	58.5%
いいえ	113	41.5%

B. 1回あたり上限はありますか？ (n=272)

はい	114	41.9%
いいえ	157	57.7%
回答なし	3	1.1%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数	11人	13人
10人未満	73件	145件
10-19人	22件	50件
20-29人	9件	14件
30-39人	4件	14件
40-49人	2件	3件
50人以上	3件	12件

C. プレカウセリングを行っているか？

はい	265	97.4%
いいえ	7	2.6%
回答なし	0	0.0%

D. 結果返しは？

1週間後まで	191	70.2%
1週から2週後まで	86	31.6%
回答なし	4	1.5%

E. スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	44	16.2%
他保健所	30	11.0%
衛生研究所	115	42.3%
外部委託	82	30.1%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

F.スクリーニング検査の方法は？

PA法	107	39.3%
IC法	46	16.9%
うちダイナスクリーン	23	
うちエスプライン	12	
EIA法	110	40.4%
その他	9	3.3%

G.確認検査の実施施設は？

自保健所	12	4.4%
他保健所	14	5.1%
衛生研究所	199	73.2%
外部委託	57	21.0%

H.検査陽性時の結果通知と確認検査検体は？

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する	18	6.6%
b. 最初に2本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。	6	2.2%
c. スクリーニング検査陽性の場合には確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。	235	86.4%
採血→スクリーニング+確認検査で1本	202	
採血→スクリーニング検査1本と確認検査1本の計2本	25	
その他	9	3.3%

② イ即日検査の場合

(n=328)

A.予約制ですか？

はい	266	81.1%
いいえ	60	18.3%
回答なし	2	0.6%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	243	74.1%
いいえ	82	25.0%
回答なし	3	0.9%

上限がある場合、平均人数と分布

	即日
平均数	Q2
10人未満	145件
10-19人	50件
20-29人	14件
30-39人	14件
40-49人	3件
50人以上	12件

C.プレカウンセリングを行っているか？

はい	317	96.6%
いいえ	5	1.5%
回答なし	6	1.8%

D.迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	192	58.5%
2週間後	125	38.1%
回答なし	11	3.4%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

E. 迅速診断キットの検査実施は？

a.自保健所 検査職員	216	65.9%
a.自保健所 医師	16	4.9%
a.自保健所 保健師	37	11.3%
a.自保健所 その他	37	11.3%
b.臨時雇用 検査職員	36	0.0%
b.臨時雇用 医師	0	0.3%
b.臨時雇用 保健師	1	1.5%
b.臨時雇用 その他	5	3.0%
c.外部委託	10	0.0%

F. 確認検査 実施施設は？

自保健所	13	4.0%
他保健所	8	2.4%
衛生研究所	229	69.8%
外部委託	77	23.5%

G. 確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	204	62.2%	(n=328)
確認検査用再採血	115	35.1%	
迅速検査用と同時	58	17.7%	
結果通知後	53	16.2%	
不明	4	1.2%	
未記入	11	3.4%	

※2保健所が、ケースにより残余と再採血の両者を実施

③ 確認検査の方法は？（通常、即日共通） (n=483)

WB法のみ	167	34.6%
2次スクリーニング+WB法	158	32.7%
WB法+NAT法	78	16.1%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	68	14.1%

④ 受検者について把握している内容は？ (n=483)

性別	482	99.8%
年齢	350	72.5%
年代	203	42.0%
年齢・年代	476	98.6%
居住地域	220	45.5%
受検動機	398	82.4%
感染リスク	338	70.0%
性的志向	230	47.6%
感染機会の時期	398	82.4%
情報源	306	63.4%
その他	80	16.6%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。 (n=483)

活用している	297	61.5%
活用していない	146	30.2%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

⑤ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	472		297		358		433	
医師	191	40.5%	249	83.8%	214	59.8%	426	98.4%
保健師	334	70.8%	245	82.5%	272	76.0%	341	78.8%
看護師	33	7.0%	10	3.4%	16	4.5%	16	3.7%
その他(カウンセラー等)	63	13.3%	34	11.4%	38	10.6%	118	27.3%

迅速検査陽性時、手渡し資料がありますか？

ある	247件	51.1%
ない	41件	8.5%
回答なし	195件	40.4%

B. 陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	332件	68.7%
ない	139件	28.8%
回答なし	12件	2.5%

C. 陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=119)	
ある	379件	78.5%	97件	81.5%
ない	96件	19.9%	19件	16.0%
回答なし	8件	1.7%	3件	2.5%

D. 陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=119)	
ある	407件	84.3%	107	89.9%
ない	64件	13.3%	8	6.7%
回答なし	12件	2.5%	4件	3.4%

E. 確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=119)	
必ずおこなう	242件	50.1%	61件	51.3%
ほぼおこなう	37件	7.7%	10件	8.4%
おこなわない	31件	6.4%	12件	10.1%
医療機関に依頼する	149件	30.8%	34件	28.6%
回答なし	24件	5.0%	2件	1.7%

F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？ (n=483)

行っている	452	93.6%
行っていない	19	3.9%
回答なし	12	3.7%

対象は？

(n=452)

全員に	361	79.9%
一部に	89	19.7%

場面は？

検査前に	67	14.8%
結果説明後に	97	21.5%
両方に	264	58.4%

具体的手法は？

パンフレット、結果説明書を活用して	133
カウンセリング	62
予防法を中心に説明	48
口頭で説明	32
感染リスクの説明および予防法について	31
リスク行動の振り返り	17

保健所における HIV 検査体制に関する調査

G. 対応困難者の経験はありますか？

ある	205件	42.4%
ない	265件	54.9%
不明	13件	2.7%

対応困難者の紹介先はありますか？

(n=483)

ある	88件	18.2%
ない	344件	71.2%
不明	51件	10.6%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？(複数回答あり)

(n=88)

医療機関	53件	60.2%
NGO等	17件	19.3%
その他	31件	35.2%

H 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

(n=483)

通常通り行う	379件	78.5%
受け付けない	件	0.0%
特別な配慮をする	93件	19.3%
→陽性時には親にも説明	25件	26.9%
→保護者の同意を得られているか	18件	19.4%
→丁寧なカウンセリング	13件	14.0%
→年齢により対応を考える	12件	12.9%

⑥ ホームページ「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

(n=483)

ある	446件	92.3%
ない	34件	7.0%
回答なし	3件	0.6%

⑦ 「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

思う	371件	76.8%
思わない	1件	0.2%
不明	108件	22.4%
回答なし	3	0.6%

⑧ 「HIV検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃいますか？

いる	108件	22.4%
受検者の約 10%以下	8件	
受検者の約 10%~20%	16件	
受検者の約 20%~50%	17件	
受検者の約 50%以上	10件	
わからない	371件	76.8%
回答なし	4	0.8%

⑥ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=483)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	479	99.2%
あった	1	0.2%
HIVについてあった	0	0.0%
STIについてあった	1	0.2%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

⑥ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありますか？

問題点、課題等

若年者やMSM等ハイリスク集団への啓発

啓発が受診者数増加になかなかつながらない。

他の性感染症の検査の必要性について所内で十分に検討できていない。

確認検査陽性者がいた場合の連携システムが確立していない。

インターネットで情報を得て受検する人がほとんどだが、イベント日(終日検査)はあえて避けている様子があり、今後の検査体制を検討する必要がある。

実際に陽性者の対応経験がない

MSMの割合が増加しているように思う。

検査課がないため、即日検査が実施できず、利便性の高い検査体制の整備が難しい。

受検しやすい体制づくり(休日、夜間)検査の周知、ハイリスク者の掘り起こし。

土日、祝日、夜間20時以降など仕事をしている人でも検査ができる時間に検査設定できない。

H27年初めて夜間エイズ検査を実施したが、2名しか来所しなかった。

リスク行動を繰り返す人への対応

プライバシーの保護への配慮、受検者数がなかなか増えず周知が難しい。

予約不要のための来所人数がわからず検査時間中は担当課の職員を多く配置しておく必要がある。

同一検査日に複数来所した際のプライバシーの確保が難しい。

職員含め全体的な問題意識の風化。

休日や夜間検査の実施の要望が多く聞かれるが、予算やマンパワーの課題により増設が難しい状況にある。

陽性者に手渡す資料としてインターネットからたんぽぽをコピーして手渡している。手渡す資料の情報がほしい。

幅広い年代への周知および青年層への教育への壁

委託先のNPO法人では医師等専門職の確保が大変だと聞いています。

受検者数が大幅に減少。啓発が難しい。

H28年度より淋病の検査を追加で行う。

保健所での検査はどうしても少ない受診者のため、もっと良い方法があるとよい。

施設がせまく、検査待合が廊下になるなどプライバシー確保の問題、保健師の面接技術の向上。

各種事業、申請手続き等で多くの来所者があり、プライバシーが守りにくい。

受検者が減少している。(H26 141件→H27 106件)

人同士が顔を合わせるなどの機会があり、プライバシーが確保しにくい。アンケート結果に対する結果等の還元をお願いしたい。

リピーターが多く新たな受検者をあまり開拓できていない。土日検査の要望があるか、対応が困難。

若年層の予防啓発、女性を中心とした普及啓発、受験しやすい体制の改善。複数回受検するリピーターの増加→受検時を予防教育としてとらえ効果的なカウンセリングが必要。新規受検者が増えるような周知や、受験しやすい体制の改善が必要。男性受検者の増加→女性への検査のPRも必要、男性受検者への効果的なカウンセリングが必要。女性のSTI罹患者や陽性者が多い→若年層からの適切な時期に感染予防についての指導が必要。

HIV検査相談マップ→H27年度に来所した方が、H24年ごろの日程表を見てこられたことがあるので、現行の情報のみ掲載していただければと思います。

リスク行動はないが、毎月のように来所される方の対応に苦慮している。

学校等での学生への周知。「早く知っていれば…」との声が聞かれる。

HIVは迅速検査で当日結果がわかるため、同時に行ったSTD検査(クラミジア、淋菌、結果1週間後)の結果を聞きに来ない方がいる。

予防行動をとらないリピーター(男性同性間性的接触者)への対応

確認検査での陽性者のプライバシーを保護しつつ、確実に医療機関を受診してもらうために、医療機関への具体的なつなぎ方や紹介状について、医療機関と一緒に検討する必要がある(保健所ではHIV検査を匿名で受けられるが、医療機関を受診する場合、予約時、氏名、生年月日、住所、電話番号等が必要であり、保健所長からの紹介状が匿名では本人確認が難しいこともある等)。また、エイズカウンセラーの活用についても検討したい。

検査技師が常駐していないので希望に合わせた相談対応できない。

外国人が陽性になったときに対応および相談紹介先(語学対応できる人員)

特設検査相談施設におけるHIV検査相談体制に関する調査

1. 平成27年1～12月の実施状況をお教え下さい。

2016/3/6

平成27年1～12月の実施状況をお教え下さい。

アンケート送付数 24
回収数 20 83.3%

(n=20)

① HIV検査件数	検査数	24,412	
	うち陽性数	129	
	陽性率	0.53%	
陽性経験数	陽性者があった施設	14件	70.0%
	陽性者がなかった施設	6件	30.0%

年間検査数	施設数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
50件未満	0	0.0%	0	0.0%	0			0
50-99件	1	5.0%	80	0.3%	0	0.00%	0.0%	0
100-199件	2	10.0%	297	1.2%	4	1.35%	50.0%	1
200-499件	4	20.0%	1,369	5.6%	9	0.66%	75.0%	3
500-999件	8	40.0%	6,365	26.1%	19	0.30%	62.5%	5
1000件以上	5	25.0%	16,301	66.8%	97	0.60%	100.0%	5

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数: **377人 (1.54%)**

③ HIV検査での結果確認（陰性者、陽性者別）:

	陰性		陽性	
結果を聞きにきた	23,914人	98.5%	121人	93.8%
結果を聞きにこなかった	369人	1.5%	8人	6.2%

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験施設	
ある	17	85.0%	13件	92.9%
ない	3	15.0%	1件	7.1%

(n=14)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: **113人 93%**

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数: **103人 (79.8%)**

2. 貴施設で行っているHIV検査相談事業の内容について教えてください。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	7件	35.0%
行っていない	13件	65.0%

「行っている」と答えた施設 → 実施している性感染症検査項目に○をしてください。

(n=7) 複数回答

梅毒	6	85.7%
クラミジア抗体	0	0.0%
クラミジア抗原	2	28.6%
淋菌	2	28.6%
B型肝炎	5	71.4%
C型肝炎	0	0.0%

特設検査相談施設におけるHIV検査相談体制に関する調査

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。

(n=20)

通常検査のみ	4	20%
即日検査のみ	14	70%
通常+即日	2	10%

平日昼のみ検査	0	0%
平日夜間検査	2	10%
土日検査	18	90%

20

通常のみ+平日昼のみ	0	0%
通常のみ+夜間も行っている	1	5%
通常+土日検査	3	15%
即日のみ+平日昼のみ	0	0%
即日のみ+夜間も行っている	1	5%
即日のみ+土日検査	13	65%
通常+即日・平日昼のみ	0	0%
通常+即日・夜間も行っている	0	0%
通常+即日・土日検査	2	10%

② ア通常検査の場合

(n=6)

A. 予約制ですか？

はい	3	50.0%
いいえ	3	50.0%

B. 1回あたり上限はありますか？

(n=6)

はい	3	50.0%
いいえ	3	50.0%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数	26人	55人
10人未満	1件	0件
10-19人	0件	1件
20-29人	1件	2件
30-39人	0件	1件
40-49人	1件	1件
50人以上	0件	9件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	6	100.0%
いいえ	0	0.0%

D. 結果返しは？

1週間後まで	6	100.0%
1週から2週後まで	0	0.0%

E. スクリーニング検査 実施施設は？

自施設	2	33.3%
他施設	4	66.7%

特設検査相談施設におけるHIV検査相談体制に関する調査

F.スクリーニング検査の方法は？

PA法	4	66.7%
IC法	0	0.0%
うちダイナスクリーン	0	/
うちエスプライン	0	/
EIA法	2	33.3%

G.確認検査の実施施設は？

自施設	3	50.0%
他施設	3	50.0%

H.検査陽性時の結果通知と確認検査検体は？

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する	1	16.7%
b. 最初に2本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。	2	33.3%
c. スクリーニング検査陽性の場合には確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。	2	33.3%
採血→スクリーニング+確認検査で1本	2	/
採血→スクリーニング検査1本と確認検査1本の計2本	0	/
その他(各医療機関により異なる)	1	16.7%

② イ即日検査の場合

(n=16)

A.予約制ですか？

はい	9	56.3%
いいえ	6	37.5%
回答なし	1	6.3%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	14	87.5%
いいえ	1	6.3%
回答なし	1	6.3%

上限がある場合、平均人数と分布

	即日
平均数	55人
10人未満	0人
10-19人	1人
20-29人	2人
30-39人	1人
40-49人	1人
50人以上	9人
	14件

C.プレカウンセリングを行っているか？

はい	15	93.8%
いいえ	0	0.0%
回答なし	1	6.3%

D.迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	12	75.0%
2週間後	2	12.5%
回答なし	2	12.5%

特設検査相談施設におけるHIV検査相談体制に関する調査

E. 迅速診断キットの検査実施は？

a.自施設 検査職員	2	12.5%
a.自施設 医師	0	0.0%
a.自施設 保健師	0	0.0%
a.自施設 その他	0	0.0%
b.臨時雇用 検査職員	7	18.8%
b.臨時雇用 医師	3	6.3%
b.臨時雇用 保健師	1	6.3%
b.臨時雇用 その他	1	37.5%
c.外部委託	6	125.0%

F. 確認検査 実施施設は？

自施設	5	31.3%
他施設	10	62.5%
未記入	1	6.3%

G. 確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	11	68.8%
確認検査用再採血	4	25.0%
迅速検査用と同時	1	6.3%
結果通知後	2	12.5%
未記入	1	6.3%

(n=16)

③ 確認検査の方法は？（通常、即日共通）

(n=20)

WB法のみ	1	5.0%
2次スクリーニング+WB法	8	40.0%
WB法+NAT法	3	15.0%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	5	25.0%
その他(各医療機関により異なる)	1	5.0%
未記入	2	10.0%

④ 受検者について把握している内容は？

(n=20)

性別	20	100.0%
年齢	11	55.0%
年代	12	60.0%
年齢・年代	19	95.0%
居住地域	15	75.0%
受検動機	14	70.0%
感染リスク	16	80.0%
性的志向	16	80.0%
感染機会の時期	14	70.0%
情報源	15	75.0%
その他	4	20.0%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

(n=20)

活用している	16	80.0%
活用していない	4	20.0%

特設検査相談施設におけるHIV検査相談体制に関する調査

⑤ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	17		13		13		17	
医師	12	70.6%	10	76.9%	10	76.9%	17	100.0%
保健師	3	17.6%	3	23.1%	5	38.5%	6	35.3%
看護師	3	17.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%
その他(カウンセラー等)	11	64.7%	9	69.2%	8	61.5%	12	70.6%

迅速検査陽性時、手渡し資料がありますか？

ある	11件	55.0%	(n=20)
ない	2件	10.0%	
回答なし	7件	35.0%	

B. 陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	16件	80.0%
ない	1件	5.0%
回答なし	3件	15.0%

C. 陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験施設(n=14)	
ある	17件	85.0%	13件	92.9%
ない	0件	0.0%	0件	0.0%
回答なし	3件	15.0%	1件	7.1%

D. 陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験施設(n=14)	
ある	16件	80.0%	12件	85.7%
ない	0件	0.0%	0件	0.0%
回答なし	4件	20.0%	2件	14.3%

E. 確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験施設(n=14)	
必ずおこなう	14件	70.0%	9件	64.3%
ほぼおこなう	0件	0.0%	0件	0.0%
おこなわない	1件	5.0%	1件	7.1%
医療機関に依頼する	3件	15.0%	3件	21.4%
回答なし	2件	10.0%	1件	7.1%

F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？

行っている	18	90.0%	(n=20)
行っていない	0	0.0%	
回答なし	2	12.5%	

対象は？

全員に	16	88.9%	(n=18)
一部に	2	11.1%	

場面は？

検査前に	0	0.0%
結果説明後に	11	61.1%
両方に	7	38.9%

具体的手法は？

感染ルートの確認および予防法について	6
カウンセリング	4
今までの行動を振り返り、行動変容を促す	3
パンフレット、結果説明書を活用して	1

特設検査相談施設におけるHIV検査相談体制に関する調査

G. 対応困難者の経験はありますか？

ある	15件	75.0%
ない	2件	10.0%
不明	3件	15.0%

対応困難者の紹介先はありますか？

(n=20)

ある	8件	40.0%
ない	10件	50.0%
不明	2件	10.0%

「ある」と答えた施設→紹介先は？(複数回答あり)

(n=8)

医療機関	3件	37.5%
NGO等	6件	75.0%
その他	2件	25.0%

H 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

(n=20)

通常通り行う	12件	60.0%
受け付けない	0件	0.0%
特別な配慮をする	6件	30.0%
→陽性時には親にも説明	3件	50.0%
→本人との相談により判断	3件	50.0%

⑥ ホームページ「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

(n=20)

ある	20件	100.0%
ない	0件	0.0%

⑦ 「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

思う	19件	95.0%
思わない	0件	0.0%
回答なし	1件	5.0%

⑧ 「HIV検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃると思いますか？

いる	15件	75.0%
受検者の約 10%以下	0件	
受検者の約 10%～20%	2件	
受検者の約 20%～50%	3件	
受検者の約 50%以上	6件	
わからない	5件	25.0%

⑥ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=20)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	19	95.0%
HIVについてあった	1	5.0%
STIIについてあった	0	0.0%

⑥ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありますか？

・予算の減少、公共の施設を借りて実施しているので会場の確保がむずかしい。

平成 28 年 1 月 4 日

各 保 健 所 長 様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
男性同性間の HIV 感染予防対策とその介入効果の評価に
関する研究

研究代表者 市川 誠一 (人間環境大学)

研究分担者 今井 光信 (田園調布学園大学)

HIV 検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年度実施しました、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査結果につきましては、全国保健所長会のサイトに掲載させて頂きましたのでご一読頂ければ幸いです。

また、今回からは上記研究班の研究事業として、アンケート調査を継続して行うことになりました。年度末で大変お忙しいところ恐縮ですが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

別紙のアンケート用紙にご回答頂けたら、平成 28 年 1 月 22 日 (金) までに、返信用封筒にてご返信下さいますようお願い致します。一つの保健所で複数の HIV 検査相談施設 (保健所支所、保健センター等) を管轄している場合には大変申し訳ありませんが、アンケート用紙をコピーの上、各施設単位でアンケートのご回答をしていただけますようお願い申し上げます。

記

- 1 調査目的 保健所における HIV 検査 (HIV 検査と同時に性感染症検査を含む) 体制および結果通知に関する現状を調査する。
- 2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV 検査相談事業担当者
- 3 調査票回答期限 平成 28 年 1 月 22 日 (金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送
宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信

(本調査に関する問い合わせ先)

下記メールにより今井光信宛にお願い致します。

Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

保健所における HIV 検査・相談体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

保健所名： _____ 所属： _____

連絡担当者名： _____ 職種： 医師・保健師・事務・その他(_____)

連絡先： TEL _____ FAX _____ E-mail _____

1. 貴保健所では HIV 検査相談を行っていますか？ (はい ・ いいえ)

「はい」と答えた保健所 → 平成 27 年 1～12 月の実施状況をお教え下さい。

① HIV 検査件数： 検査数 _____ 件 スクリーニング検査で陽性 _____ 件 確認検査陽性 _____ 件

② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数： _____ 件

③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数： _____ 件

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？ (ある ・ ない)

「ある」と答えた保健所 → 具体的に教えて下さい(_____)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数： _____ 件

⑥ 確認検査陽性で、保健所が感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 _____ 件

2. 貴保健所で行っている HIV 検査相談事業の内容について教えて下さい。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常(即日)(定期)イベント)検査：(火 曜日・(月)年) 4 回 受付時間： 13 : 00 ~ 15 : 00

(通常・即日)(定期・イベント)検査： _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間： _____ : _____ ~ _____ : _____

(通常・即日)(定期・イベント)検査： _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間： _____ : _____ ~ _____ : _____

(通常・即日)(定期・イベント)検査： _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間： _____ : _____ ~ _____ : _____

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか？

(行っていない ・ 行っている → (毎回 ・ イベント (年 回))

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他 _____)

A. 通常検査を行っている場合

A. 予約制ですか？ (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか？ (はい → (_____)人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか？ (はい ・ いいえ)

D. 結果返しは？ (1 週間後 ・ 2 週間後 ・ _____ 日後以降)

E. スクリーニング検査実施施設は？

(自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名： _____))

F. スクリーニング検査の方法は？

(PA 法 ・ IC 法 (ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他(_____)

G. 確認検査の実施施設は？

(自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託 (機関名： _____))

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する。

b. 最初に 2 本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。

c. スクリーニング検査陽性の場合確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。

(採血は？ → スクリーニング+確認検査で 1 本 ・ スクリーニング検査 1 本と確認検査 1 本の計 2 本)

d. その他(_____)

I. 即日検査を行っている場合

A. 予約制ですか？ (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか？ (はい (_____)人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか？ (はい ・ いいえ)

- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（1週間後・2週間後・____日後以降）
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自保健所職員（検査担当職員・医師・保健師・その他_____）
- b. 臨時雇用（検査担当職員・医師・保健師・その他_____）
- c. 外部委託（機関名_____）
- F. 確認検査の実施施設は？
- （自保健所・他保健所・衛生研究所・外部委託（機関名：_____））
- G. 確認検査用の検体は？
- （迅速検査の残血液・確認検査用に採血 →（迅速検査用と同時・結果通知後））
- ③ 確認検査の方法を教えてください（通常検査を行っている場合、即日検査を行っている場合共通）。
- （WB法のみ・2次スクリーニング検査+WB法・WB法+核酸増幅検査(NAT)法
2次スクリーニング検査+WB法+NAT法・その他_____）
- ④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。
- （性別・年齢・年代・居住地域・受検の動機・感染リスク・性的指向
・感染機会の時期・今回の検査の情報源・その他_____）
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（している・していない）
- ⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H27年4月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の1事業実施回当たりの担当者は？
- * 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「陰性結果通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「迅速検査陽性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「確認検査陰性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「確認検査陽性通知」→（人：医師（人）・保健師（人）・看護師（人）・その他（人））
- 「迅速検査陽性」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）
- 具体的には？（_____）、手渡し資料は？（ある・ない）
- 「確認検査陽性」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）
- 具体的には？（_____）
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ある・ない）
- C. 陽性者への説明資料はありますか？（ある（具体的に：_____）・ない）
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？（ある（具体的に：_____）・ない）
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- （必ず行う・ほぼ行う・行わない・紹介先医療機関に依頼する）
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」の方（理由：_____）
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（している・していない）
- 「している保健所」→ 対象は？（全員・一部）、場面は？（検査前・結果説明後・両方）
- 具体的手法は？（具体的に：_____）
- G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ある・ない）
- 対応困難者の紹介先はありますか？（ある・ない）
- 「ある」と答えた保健所 →（紹介先全てに○：医療機関（診療科_____）・NGO・その他_____）
- H. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- （通常通り行う・受け付けない・特別な配慮をする→（具体的に：_____））
- ⑥ ホームページ「HIV検査・相談マップ」(hivkensa.com)をご覧になったことはありますか？（はい・いいえ）
- ⑦ 「HIV検査・相談マップ」はHIV検査相談事業に役立っていると思いますか？（はい・いいえ・不明）
- ⑧ 貴保健所のHIV受検者の中で、「HIV検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃいますか？分かりましたらおおよその割合も教えてください。（いる（約_____％）・分からない）
- ⑨ H27年1～12月にHIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- （あった →（HIVについて・性感染症について）・なかった）
- ⑩ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成 28 年 1 月 6 日

関係者の皆様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
男性同性間の HIV 感染予防対策とその介入効果の評価に
関する研究

研究代表者 市川 誠一 (人間環境大学)

研究分担者 今井 光信 (田園調布学園大学)

HIV 検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

上記研究班の研究事業として、現在、保健所に対して「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」を実施しております。

つきましては、保健所以外の自治体特設の HIV 検査相談施設に関しましても、保健所アンケートに準じた調査を本年も実施させていただきたく、大変お忙しいところ恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い致します。

別紙のアンケート用紙にご回答頂けましたら、平成 28 年 1 月 22 日 (金) までに、返信用封筒にてご返信下さいますようお願い致します。

記

- 1 調査目的 自治体特設 HIV 検査相談施設における HIV 検査 (HIV 検査と同時に行う性感染症検査を含む) の検査体制および結果通知に関する体制の現状を調査する。
- 2 調査票回答者 自治体特設 HIV 検査相談施設の責任者 あるいは委託元 HIV 検査相談事業の責任者または担当者
- 3 調査票回答期限 平成 28 年 1 月 22 日 (金)

4 調査票回答方法

返信用封筒による郵送

宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1

田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信

(締め切り期日が迫っている場合、下記のメールアドレス経由でご回答頂いても結構ですが、その場合も返信用封筒による郵送での回答も必ずお願い致します。)

(宛先) Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

(本調査に関する問い合わせ先)

下記メールにより今井光信宛にお願い致します。

Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

自治体特設 HIV 検査施設における HIV 検査体制に関する調査

* アンケートの集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。

検査施設名:

連絡担当者名: 職種: 医師・保健師・事務・その他()

連絡先: TEL FAX E-mail

1. 貴施設ではいつから HIV 検査を行っていますか? (年から)

平成 27 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。

① HIV 検査件数: 検査数 件 スクリーニング検査で陽性 件 確認検査陽性 件

② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: 件

③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数: 件

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? (ある ・ ない)

「ある」と答えた施設 → 具体的に教えて下さい()

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 件

⑥ 確認検査陽性で、感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 件

2. 貴施設で行っている HIV 検査事業の内容について教えて下さい。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常(即日)(定期)イベント)検査: (火 曜日・(月)年) 4 回 受付時間: 13 : 00 ~ 15 : 00

(通常・即日)(定期・イベント)検査: 曜日/(月・年) 回 受付時間: : ~ :

(通常・即日)(定期・イベント)検査: 曜日/(月・年) 回 受付時間: : ~ :

(通常・即日)(定期・イベント)検査: 曜日/(月・年) 回 受付時間: : ~ :

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか?

(行っていない ・ 行っている → (毎回 ・ イベント (年 回))

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B 型肝炎 ・ C 型肝炎 ・ その他)

ア. 通常検査を行っている場合

A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか? (はい → ()人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)

D. 結果返しは? (1 週間後 ・ 2 週間後 ・ 日後以降)

E. スクリーニング検査実施施設は?

(自施設 ・ 他施設 (機関名:))

F. スクリーニング検査の方法は?

(PA 法 ・ IC 法(ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他())

G. 確認検査の実施施設は?

(自施設 ・ 他施設 (機関名:))

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する。

b. 最初に 2 本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。

c. スクリーニング検査陽性の場合確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。

(採血は? → スクリーニング+確認検査で 1 本 ・ スクリーニング検査 1 本と確認検査 1 本の計 2 本)

d. その他()

イ. 即日検査を行っている場合

A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)

B. 1回あたり上限数がありますか? (はい ()人 ・ いいえ)

C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)

- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？（ 1 週間後 ・ 2 週間後 ・ ____ 日後以降 ）
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自施設職員 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他 _____ ）
- b. 臨時雇用 （ 検査担当職員 ・ 医師 ・ 保健師 ・ その他 _____ ）
- c. 外部委託 （機関名 _____ ）
- F. 確認検査の実施施設は？
- （ 自施設 ・ 他施設 （機関名： _____ ） ）
- G. 確認検査用の検体は？
- （ 迅速検査の残血液 ・ 確認検査用に再採血 → （ 迅速検査用と同時 ・ 結果通知後 ） ）
- ③ 確認検査の方法を教えてください（通常検査を行っている場合、即日検査を行っている場合共通）。
- （ WB 法のみ ・ 2 次スクリーニング検査+WB 法 ・ WB 法+核酸増幅検査(NAT)法
2 次スクリーニング検査+WB 法+NAT 法 ・ その他(_____) ）
- ④ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい（複数回答可）。
- （ 性別 ・ 年齢 ・ 年代 ・ 居住地域 ・ 受検の動機 ・ 感染リスク ・ 性的指向
・ 感染機会の時期 ・ 今回の検査の情報源 ・ その他(_____) ）
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？（ している ・ していない ）
- ⑤ 結果説明・相談等について教えてください。H27 年 4 月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の 1 事業実施回当たりの担当者は？
- * 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「**陰性**結果通知」→（ 人： 医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**迅速検査陽性**通知」→（ 人： 医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**確認検査陰性**通知」→（ 人： 医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**確認検査陽性**通知」→（ 人： 医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他(_____ (人))
- 「**迅速検査陽性**」時の説明体制（例：、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明）
- 具体的には？（ _____ ）、手渡し資料は？（ ある ・ ない ）
- 「**確認検査陽性**」時の説明体制（例：医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談）
- 具体的には？（ _____ ）
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？（ ある ・ ない ）
- C. 陽性者への説明資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？（ ある（具体的に： _____ ） ・ ない ）
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- （ 必ず行う ・ ほぼ行う ・ 行わない ・ 紹介先医療機関に依頼する ）
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」の方（理由： _____ ）
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？（ している ・ していない ）
- 「**している施設**」→ 対象は？（ 全員 ・ 一部 ）、場面は？（ 検査前 ・ 結果説明後 ・ 両方 ）
- 具体的手法は？（ 具体的に： _____ ）
- G. 対応困難者（不安神経症、リスク行動を繰り返す人等）の経験はありますか？（ ある ・ ない ）
- 対応困難者の紹介先はありますか？（ ある ・ ない ）
- 「ある」と答えた保健所 →（紹介先全てに○： 医療機関（診療科 _____ ）・ NGO ・ その他 _____ ）
- H. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- （ 通常通り行う ・ 受け付けない ・ 特別な配慮をする →（具体的に： _____ ） ）
- ⑥ ホームページ「HIV 検査・相談マップ」(hivkensa.com)をご覧になったことはありますか？（ はい ・ いいえ ）
- ⑦ 「HIV 検査・相談マップ」は HIV 検査相談事業に役立っていると思いますか？（ はい ・ いいえ ・ 不明 ）
- ⑧ 貴施設の HIV 受検者の中で、「HIV 検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃいますか？
- 分かりましたらおおよその割合も教えてください。（ いる（約 _____ %） ・ 分からない ）
- ⑨ H27 年 1～12 月に HIV/性感染症検査（無料・匿名）に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- （ あった →（ HIVについて ・ 性感染症について ） ・ なかった ）
- ⑩ HIV 検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。